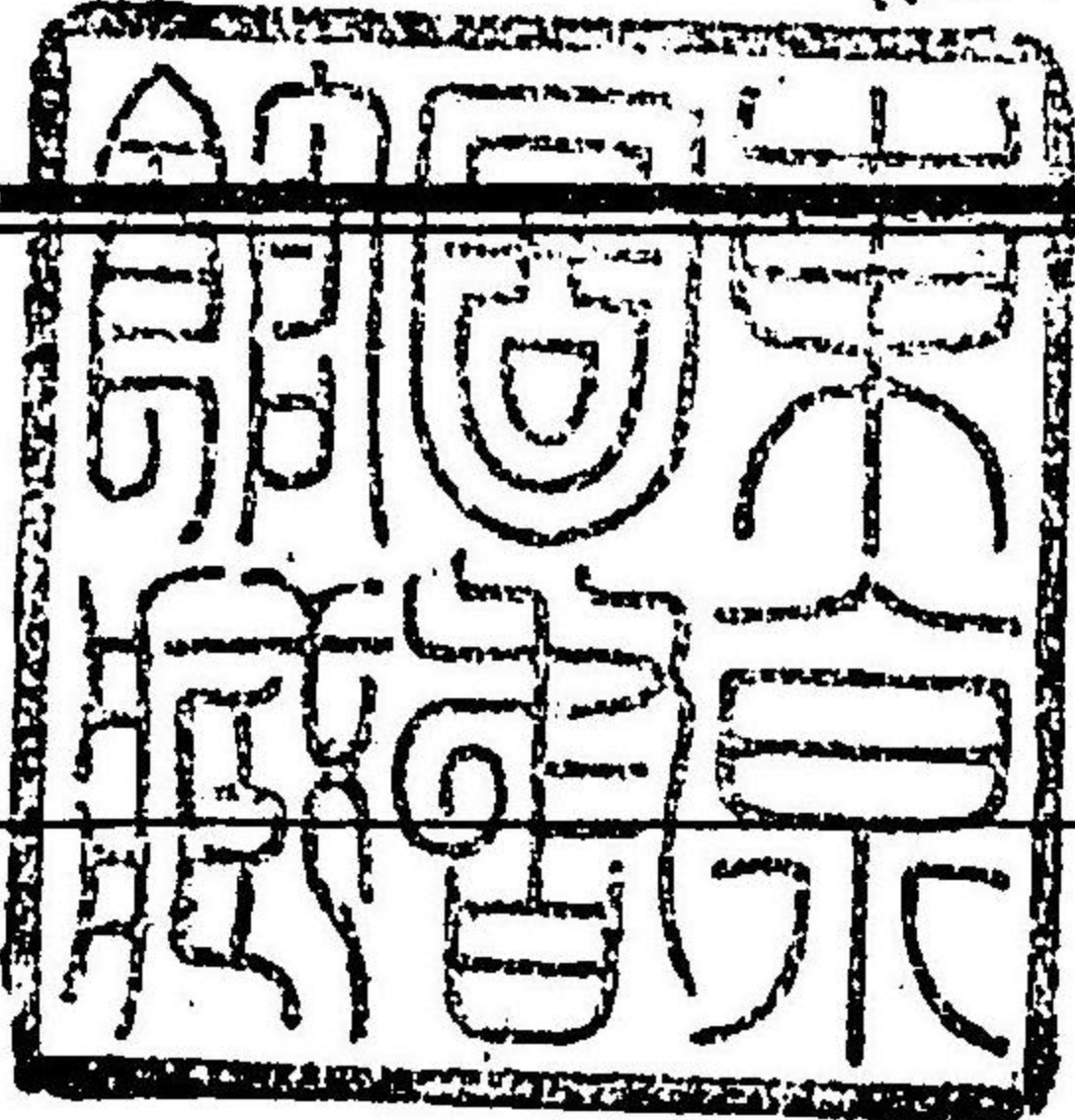


長崎年表附録

1012845



長崎年表附錄目錄

神社佛閣

橋梁

町名

鄉村名

奉行沿革

代官沿革

町年寄沿革

地役人表

長崎會所歲計



金井俊行編集

長崎年表附錄

明治廿二年二月 人文會社刊行

目錄

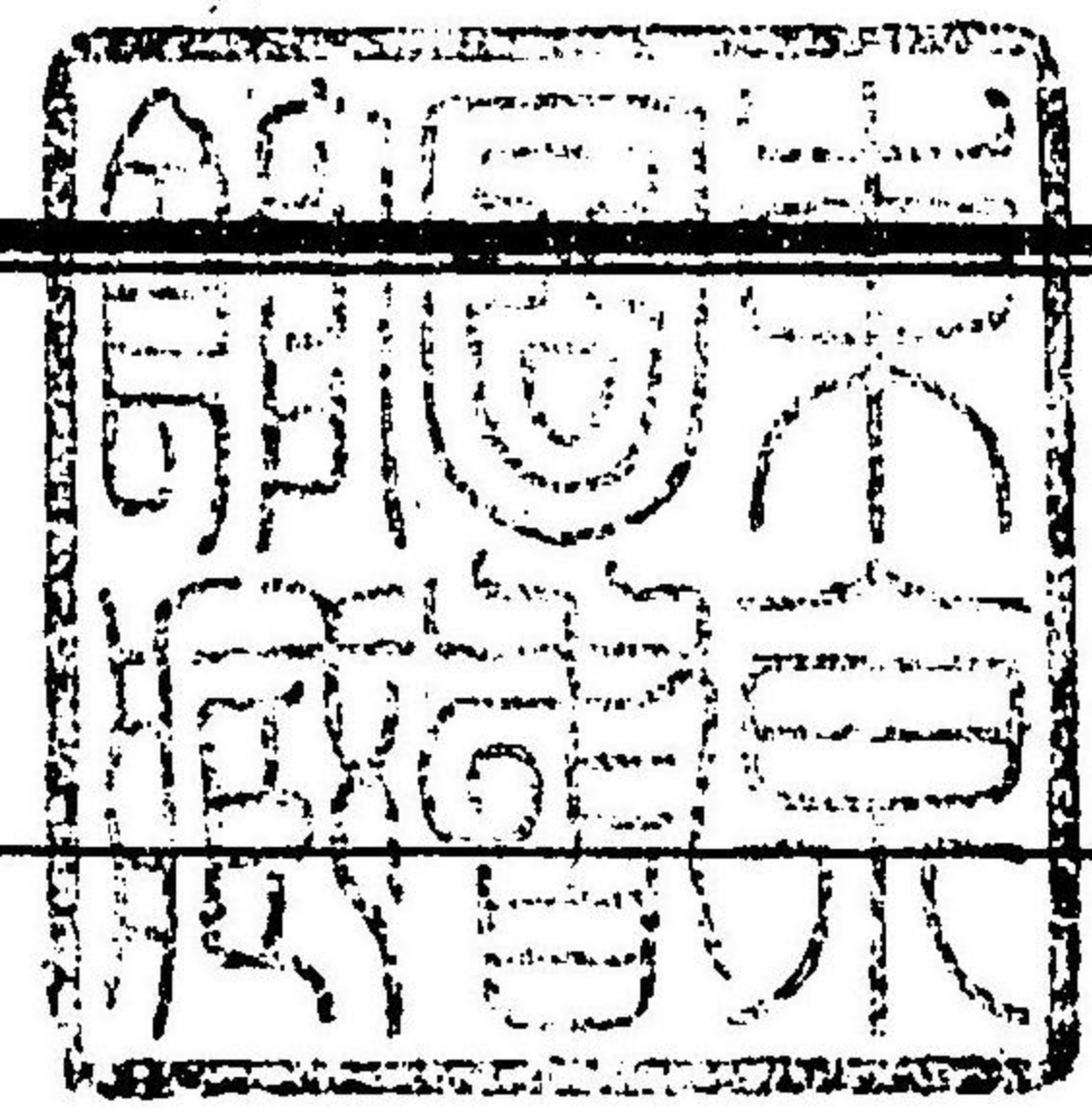
長崎年表

外國商法沿革

異宗處分

長崎年表附錄

金井俊行編纂



神社佛閣

明治維新ノ後神佛混淆ヲ止ルヲ以テ寺院ノ變シ
テ神社トナルモノ及ヒ廢跡スルモノアリ今維新
前ノ調査ニヨリ其變更ニ係ルモノハ之ヲ欄外ニ
掲ク

諏方神社 朱印地境内一萬坪餘 上長崎村西山郷

祭神 諏方大神 健御名方命 八坂刀賣命

森崎大神 伊邪那岐命 伊邪那美命

住吉大神 上筒之男命
中筒之男命
下筒之男命

寛永二年佐嘉人金重院賢清西山郷圓山ノ地ヲ賜テ再
興シ阿部ヲ以テ之ヲ祭ル○寛永九年金重院官司トナ
ル○寛永十一年始テ大祭ヲ行ヒ神輿大波戸ニ幸シ市
郷人民悉ク供奉ス○慶安元年十一月玉園山ノ地ニ移
シ神宮寺ノ号ヲ賜フ○萬治元年神主青木永安正六位
下ニ叙ス○寛文九年境内除租ノ朱印ヲ賜フ○天和三
年寺号ヲ止メ惟一ノ神社トス○享保八年正一位ノ神
位ヲ賜フ○天明五年神主青木永勇大官司トナル○寛
政七年靈元天皇ノ震翰ヲ本殿ニ掲ク此年大官司永勇

改稱
稻佐神社

從四位下ニ叙ス○天保六年青銅大鳥居ナル○安政四
年九月出火社殿悉ク燒失ス○明治維新後ニ至テ再建
落成ス

鈿山コサキ惠美須社 境内八百坪 浦山淵村瀬脇郷

祭神 事代主神

諏方神社末社

往昔小柳五郎左衛門小祠ヲ建○享保元年柳木内膳再
興ス

八劍ヤツキ神社 境内三百廿八坪 下長崎村小島郷

祭神 日本武尊

神社佛閣

諏方神社末社

寛文元年東新三郎開創ス

松森神社

境内二千六百廿坪

上長崎村西山郷

祭神 天満神

寛永三年今博多町ニ開創ス○明暦二年八月西山郷元

諏方ノ地ヲ賜フテ之ヲ移ス

梅園神社

境内九百八十四坪

下長崎村小島郷

祭神 天満神

松森神社末社

元祿十三年丸山町乙名安田次右衛門建立ス

伊勢宮神社

境内五百二坪

長崎區伊勢町

祭神 内宮外宮兩太神宮

寛永十六年九月修驗南覺院存祐伊勢太神宮祈禱所ノ

爲建立ス○正保三年島左馬允直重爲神職○寛文三年

三月延焼ス○寛文四年九月再建ス○嘉永四年神主島

重道從五位下ニ叙ス

八幡神社

境内七百坪

上長崎村中川郷

祭神

應仁天皇
神功皇后
武内宿禰

正保三年豊後府内領主日根野織部正岩原郷元洪泰寺

ノ地ニ建立ス○寛延元年中川郷ニ移ス

水神々社

境内千三十九坪

上長崎村伊良林郷

祭神 彌都波能賣神

承應元年澁江刑部爐粕町ニ建ツ○元文四年伊良林郷

ニ移ス

神崎神社

境内二千五百坪

浦上淵村木鉢郷

祭神

神功皇后
住吉三神
後田彦神
事代主神

延寶八年内田英貞建立ス

住江神社

境内四十坪

下長崎村十善寺郷

祭神 保食大神

創建年代未詳○元祿二年唐館トナルニ及ンテ此地ニ

人稱シテ若宮社トス

移ス

伊良林稻荷神社

境内三百十八坪

上長崎村伊良林郷

祭神 保食大神

延寶元年若杉某建立ス○享保二十一年奉行細井因幡

守再建ス

西山神社

境内

上長崎村西山郷

祭神

天御中主大神
高産靈命
神産靈命

諏方神社末社

享保二年唐通事盧草拙建立ス

坂上神社

境内百九十八坪五夕

長崎區本博多町

祭神 天滿神

創建年代未詳○享保十八年社殿ヲ造ル

戸町神社

境内四百十七坪

戸町村下郷

祭神 保食大神

創建年代未詳

修驗之部

大生山威福寺寶正院

境内六百三十二坪

上長崎村馬場郷

改稱
天滿神社
祭神天滿神

真言宗當山派醍醐三寶院末

慶長十二年唐津ノ修驗威福院高順東中町筋違橋ノ邊

ニ建立ス○其十五年八幡町ニ移ス○元和元年地ヲ賜

廢寺

フテ馬場郷ニ移ス○元祿八年寺号免許アリ

如意山本覺寺

境内二百八十六坪

長崎區爐粕町

天台宗英彦山靈仙寺末

元和元年大賢坊八百屋町ニ建立シ如意山正覺院神地

寺ト号ス○後爐粕町ニ移シ寂靜院本覺寺ト改ム○寛

延元年濱武宗貞地ヲ寄附シ移轉ス

無凡山神宮寺

境内四千六百廿五坪

浦上山里村里郷

真言宗當山派醍醐三寶院末

寛永元年常樂院八幡町ニ建立ス○寶永二年無凡山ニ

金毘羅神ヲ祀ル○享保十年山号寺号ヲ許サル

改稱
金刀比羅神社
祭神大物主神
宗徳天鳥

改稱
大崎神社
祭神 保食大神
仁徳天皇

寶正山如意輪寺金剛院 境内三百廿五坪 長崎區丸山町

真言宗當山派醍醐三寶院末

寛永十七年長圓本石灰町ニ建立ス○寛文十二年丸山

町ニ移ス

大福山寶輪寺聖壽院 境内三百坪 下長崎村高野平郷

真言宗當山派醍醐三寶院末 當山派袈裟頭

寛永十八年増慶新紙屋町ニ建立ス○延寶四年高野平

郷ニ移ス○明和三年二月延燒ス○明和八年再建ス○

天保十四年十月延燒ス○嘉永六年再建ス此年京都三

寶院々室兼帶トナル

改稱
天滿神社
祭神 天滿神

前熊山南光寺不動院 境内百十八坪 長崎區今籠町

真言宗當山派

寛永十八年快元建立ス○明和三年二月延燒ス○天保

十四年十月延燒ス

廣徳山 大行寺 境内百七十二坪 長崎區今博多町

天台宗本山派白川聖護院末

天滿社松森ニ移轉ノ跡ニ萬治元年菴室ヲ構シ流法菴

ト号ス○享保八年更ニ天滿宮ヲ祀リ山号寺号ヲ許サ

ル

能滿堂大教院 境内二百七十坪 長崎區伊勢町

應寺
神社佛閣

長崎年表

廢寺

天台宗本山派白川聖護院末
正保三年立興建立ス

良泉院

境内百十九坪

長崎區今籠町

眞言宗當山派

慶安四年建立ス○明和三年二月延燒ス○天保十四年
十月延燒ス

金藏院

境内坪數不詳

長崎區八幡町

廢寺

眞言宗當山派

萬治元年明定院快養今籠町ニ建立ス○延寶五年金藏
院良快再建ス○明和三年二月延燒ス○寛政九年今博

廢寺

大學院

境内七十八坪

長崎區八幡町

多町ニ移ス○文政元年八幡町ニ移ス

天台宗本山派

寛文十二年快教院德行建立ス○元祿三年大學院存
再興ス

快行院

境内八十八坪

下長崎村高野平郷

眞言宗當山派

寛永十八年和光院雄瑞建立ス○享保八年快行院朗種
再興ス○明和三年三月延燒ス○享和二年再建ス○天
保十四年十月延燒ス○弘化四年十二月再建ス

神社佛閣

長崎年表

〇七

興善院 境内百九十坪 長崎區爐箱町

天台宗安禪寺末

寛永十一年寶泉坊量海建立ス○後安禪寺末院トナル

○享和元年興善院ト改ム

琢正院 境内八十坪 下長崎村小島郷

真言宗當山派醍醐三寶院末

寛文四年壽福院建立ス

玉泉院 境内百拾壹坪 長崎區寄合町

天台宗聖護院末

寛永二十年建立ス

改稱
楠稻荷神社
祭神保食神

楞嚴院 境内六拾坪 長崎區銅座町

真言宗三寶院末

寛永十八年今籠町ニ建ツ○後銅座ニ移ス

寺院之部

終南山悟真寺 境内壹萬坪 浦上淵村稻佐郷

淨土宗鎮西派筑後善導寺末

慶長ノ初メ善導寺徒弟立故菴室ヲ設ク○慶長三年遂

ニ一寺ヲ創ス

光壽山正覺寺 境内千三百三坪 下長崎村小島郷

一向宗京都佛光寺末

慶長九年道智地ヲ賜テ芋原ニ建立シ本願寺末寺トナル
 ○延寶四年小島郷ニ移ス○元祿十一年佛光寺末寺トナリ院家ニ進ム○寛政十年四月年始八朔禮席朱印地同格トナル○寛政十一年六月諸事朱印地ニ準ス○享和二年築地筋塀ヲ許サル○文化十一年年始八朔別日禮トナル○文政九年年始八朔別日獨禮トナル

大谷山大光寺 境内五千八百八十八坪 下長崎村高野平郷
 一向宗京都西本願寺兼帶所長崎一派觸頭
 慶長十九年慶了開基ス○慶安二年本寺兼帶所トナル
 ○文化八年六月留主居住職達了院家ニ進ム此年年始

光永寺

境内七百六十五坪

長崎區桶屋町古町

八朔禮席朱印地同格トナル

一向宗東本願寺末

慶長十九年慶西開基ス○天和三年本山坊所格トナル

○正徳元年院家ニ進ム○寛政八年築地筋塀ヲ許サル

○寛政十一年諸事朱印地ニ準ス

海雲山普照皓臺寺 朱印地境内一萬千六百七十七坪 上長崎村伊良林郷

禪宗曹洞派肥前佐嘉玉林寺末

慶長年中平戸ノ僧龜翁岩原郷ニ開基シ笠頭山洪泰寺

ト号ス○元和元年佐嘉玉林寺住持一庭勅ヲ奉シテ住

持トナル○寛永三年高野平郷ニ移ス○寛永十九年閏
九月明正天皇一庭ニ了外廣覺禪師ノ号ヲ賜ヒ紫衣ヲ
許シ寺号ヲ海雲山普昭皓臺寺ト賜フ○正保年中一庭
天草志岐村ニ國照寺ヲ創ス○慶安元年境内除租ノ朱
印ヲ賜フ○慶安二年二代雪山幕府面前ニ於テ老中列
坐皓臺寺住持ニ補シ筑前侯ニ命シ途上ヲ警護長崎ニ
至ル爾後ノ住持老中ノ連署ヲ以テ之ニ補ス○貞享四
年東山院天皇三代故月舟ニ大機盤空禪師ノ謚号ヲ賜
フ○延寶五年大佛殿ヲ建ツ

境内末院

聯禮院

眞珠院

松心院廢院

海藏菴

耕雲菴廢菴

東林山深崇寺

境内千四百七十坪

上長崎村伊良林郷

一向宗京都西本願寺末

元和元年唐津ノ僧淨慶開基ス

醫王山延命寺

境内千八百坪

上長崎村伊良林郷

眞言宗京都仁和寺末

元和二年龍宣開基シ代々院家ヲ兼帶ス○文化元年御
室御所用所トナリ住持猛雄權僧正ニ任ス後孚雄猷雄
相繼テ之ニ任ス○嘉永四年八月大師堂ヨリ出火一時

蕩盡ス

正覺山大音寺 朱印地境内二萬三千六百三十坪 上長崎村伊良林郷
淨土宗京都智恩院末

慶長十九年傳譽古町ニ中道院ヲ創ス○元和二年本博
多町切支丹寺跡地ヲ賜フ○元和三年堂宇ヲ建立シ智
恩院末寺トナリ正覺山大音寺ト号ス○寛永十五年伊
良林郷ニ移ル○其十八年境内除租ノ朱印ヲ賜フ○延
寶二年幕府位牌所ヲ建ツ

塔頭

影照院

專修院

常照院

常念佛堂

聖林山本蓮寺

朱印地境内一萬十坪

上長崎村岩原郷

法華宗本國寺末

元和六年切支丹寺跡地ヲ賜フテ本瑞院日慧開基ス○
正保五年境内除租ノ朱印ヲ賜フ○元祿十一年延燒ス
○寶永二年再建ス

塔頭

一乘院

本光院

大乘院

成就坊

達心院

唯幸坊

東明山興福寺

境内五千九十四坪

上長崎村伊良林郷

禪宗臨濟派

南長寺ト稱ス

長崎年表

元和六年唐僧真圓開基ス

境内末菴

東廬菴

桃林菴

永興院

永福菴

資福菴

境外末菴

圓通菴

上長崎村伊良林郷

希運菴

上長崎村中川郷

福源菴

浦上淵村稻佐郷

聽松菴

長崎區八幡町

三佛山法泉寺

境内二百三十八坪

長崎區下筑後町

淨土宗大音寺末

元和七年信譽開基ス

長崎山清水寺

境内五千四百七十三坪

下長崎村高野平郷

真言宗法相宗兼帶京都清水寺末

元和九年慶順開基ス○天保十四年十月聖天堂庫裏延

燒ス

萬年山三寶寺此經院

境内二千二百六十三坪

上長崎村伊良林郷

淨土宗京都智恩院末

元和九年轉譽開基ス○文政八年住持裕譽准院家觀喜

光院トナリ當寺ヲ兼帶ス

長崎年表

東雲山淨安寺シヤクヤン理藥院 境内千二百十六坪

上長崎村伊良林郷

淨土宗京都智恩院末

寛永元年誓譽開基シ唐津淨泰寺末寺トナル○享和元

年京都智恩院直末トナル

寶樹山現應寺ゲンショウ延壽院 境内千三百九十四坪

下長崎村高野平郷

天台宗江戸東叡山末

寛文三年修驗高覺院今籠町ニ開基ス○其十五年高野

平郷ニ移ス○後東叡山末寺トナリ山号寺号院号ヲ許

サル○明和三年二月延焼ス○文化二年再建ス

天王山聖德寺キョウテン法輪院 境内千二百五十坪

浦上山里村馬込郷

改稱
八坂神社
建速道雄命
祭神 奇稻田姫命
大山仁天皇
命

淨土宗鎮西派筑後善導寺末

寛永三年專譽開基ス

向南山觀善寺クワンゼン 境内二百六十二坪

上長崎村岩原郷

一向宗西本願寺末

寛永三年淨念開基シ東本願寺末寺トナル○寛文十一

年岩原郷ニ移ス○享保七年西本願寺末寺ニ轉ス

施無爲山法界ホウカイ性寺キョウジヤウ 境内五百五十八坪

上長崎村岩原郷

眞言宗京都仁和寺末

寛永三年宥道開基シ寶玉院ト号シ院家ヲ兼帶ス

分紫山福濟寺フクサイ 境内三千坪

上長崎村岩原郷

改稱
天滿神社
祭神天滿神

津州寺ト稱ス

神社佛閣

長崎年表

長崎年表

禪宗臨濟派

寛永五年唐僧覺海開基ス○寛永二年二月浴室燒失ス

○寶曆五年十一月辨天堂燒失ス

境内末菴

永聖院

興德菴

靈鷲菴

紫雲菴

境外末菴

桑蓮居

上長崎村夫婦川郷

光明菴

浦上淵村稻佐郷

大慈菴

上長崎村西山郷

松林菴

上長崎村中川郷

福州寺ト稱ス

聖壽山崇福寺

境内七千四百三十四坪

下長崎村高野平郷

禪宗臨濟派

寛永六年唐僧超然開基ス

境内末菴

廣福菴

廣善菴

廣德菴

竹林院

清涼菴

綠羅菴

境外末菴

祇樹林

上長崎村西山郷

大悲菴

同上

養源院

上長崎村片淵郷

曇華菴 下長崎村高野平郷

極樂菴 同上

棲雲菴 上長崎村中川郷

寶授菴 同上

上善菴

華嶽山春徳寺 境内六千六百廿六坪 上長崎村夫婦川郷

禪宗五山派京都建仁寺末

寛永七年泰室岩原郷ニ開基ス○其二十年末次茂貞地

ヲ付シテ夫婦川郷ニ移ス○貞享二年三月出火一寺蕩

蓋ス

光榮山長照寺 境内四千七百七十五坪 上長崎村伊良林郷

法華宗本蓮寺末

寛永八年本通院日與開基ス

天靈山龍淵寺 境内三百八坪 長崎區伊勢町

淨土宗西山派京都誓願寺末

寛永八年誓壽開基日天山雲光寺ト号ス○享保年間天

靈龍淵再興シ山号寺号ヲ改ム

瑞雲山西勝寺 境内二百廿六坪 長崎區東中町

一向宗西本願寺末

寛永九年守讚開基ス

改稱
源神社
市井島
祭神
田心姫命
津姫命

寶珠山萬福寺

境内七千五百廿五坪

浦上淵村竹久保郷

眞言宗延命寺末

寛永十一年延命寺住持龍宣開基ス

巍々山光源寺

境内五百九十五坪

上長崎村伊良林郷

一向宗西本願寺末

寛永十四年松吟開基ス○延寶四年延燒ス○天保二年

十一月出火一寺蕩盡ス○其四年八月再建ス

寶壽山眞福寺文珠院

境内九百九十一坪

下長崎村高野平郷

眞言宗肥前黒髮山大智院末

初今籠町ニ建立ス○寛永十八年高野平郷ニ移ス

廢寺

改稱
愛宕神社
祭神
火産靈神

愛宕山願成寺

境内七千三百十七坪

下長崎村高野平郷

眞言宗京都仁和寺末

寛永二十年宥慶開基ス○後院家兼帶トナル

寶盤山聖無動寺

境内四百三十二坪

上長崎村岩原郷

眞言宗京都建仁寺末

正保元年利生院專音開基ス○萬治年間仁和寺末トナ

リ寺号ヲ稱ス○後院家兼帶トナル

河東山禪林寺

境内千四百七十二坪

上長崎村伊良林郷

禪宗關山派京都妙心寺末

正保元年石峯開基ス

慶寺

寶池山德范寺

境内四百十三坪

長崎區八幡町

禪宗關山派京都妙心寺末

正保元年修驗德范院周教開基ス○延寶六年眞常讓ヲ

受ケ妙心寺末寺トナリ山号寺号ヲ稱ス○弘化元年十

月延燒ス

慶寺

寶林山青光寺

境内二百九十七坪

長崎區出來大工町

眞言宗延命寺末

正保二年慶順開基ス

慶寺

松岳山安禪寺正院

境内二千七百三十四坪

上長崎村西山郷

天台宗江戸東叡山末

慶寺

正保二年玄澄草菴ヲ結フ○承應二年東叡山末寺トナ

リ山号寺院号ヲ許シ且東照宮ノ影像ヲ賜フ○延寶

元年建築全ク了ル○文化元年院家トナル

常念佛堂多聞院 安禪寺境内

正保年中豪傳上院後町小巷ニ住ス○延寶元年安禪寺

境内ニ移ス

瑞光山永昌寺

境内八百五坪

長崎區上院後町

禪宗曹洞派皓臺寺末

正保三年皓臺寺住持一庭開基ス

德光山高林寺

境内百五十坪

長崎區爐粕町

神社佛閣

長崎年表

長崎年表

禪宗曹洞派皓臺寺末

正保三年皓臺寺住持一庭開基ス○安政四年九月出火

一寺蕩盡ス

月桂山光雲寺

境内二百三坪

長崎區出來大工町

禪宗曹洞派皓臺寺末

正保三年皓臺寺住持一庭開基ス

梅檀山能仁寺

境内四百坪

上長崎村西山郷

真言宗延命寺末

正保四年長音桶屋町ニ建立シ妙音院ト号ス○後西山

郷ニ移シ延命寺末寺トナリ山号寺号ヲ稱ス

廢寺

改稱
日吉神社

再改稱

皇太神宮
天照皇大神
豐受姫大神
祭神
大山國主神
大山作神
大年神

廢寺

白嵩山圓福寺

境内三千九百坪

浦上山里村里郷

真言宗延命寺末

慶安元年延命寺住持龍宣開基ス

東淵山雲龍寺

境内八百八十坪

上長崎村馬場郷

禪宗五山派春徳寺末

承應二年心傳開基ス

萬壽山聖福寺

境内五千坪

上長崎村岩原郷

禪宗臨濟派宇治黄檗山末

延寶五年鉄心開基ス

境内末巷

長崎年表

松月院

普門院

淨操菴

清淨菴

四休菴

瑠璃光山妙相寺 境内四千坪

上長崎村本河内郷

禪宗曹洞派皓臺寺末

寶延七年皓臺寺住持逆流今籠町ニ建立ス○寶永四年

本河内郷ニ移ス

青龍山大徳寺慈眼院 朱印地境内千三百七十坪 下長崎村小島郷

眞言宗江戸護持院末

元祿十六年月珍十善寺郷ニ建立ス○寶永四年境内除

租ノ朱印ヲ賜フ○寶永五年小島郷ニ移ス○寶永六年

改稱
梅香峰神社
祭神 天満神

改稱
八幡神社
祭神 應仁天皇

許可ヲ得テ常憲院ノ眞影ヲ奉祀ス

白鳩山大覺寺

境内六百五十五坪

長崎區八幡町

禪宗臨濟派宇治黄檗山末

承應二年修驗大覺院存性八幡宮ヲ祀ル○元祿二年白

鳩山大覺寺南岳院ト号ス○寶永元年黄檗僧大項讓ヲ

受ク○其五年黄檗山末寺トナル

天長山太平寺

境内五百六十二坪四合

長崎區新橋町

禪宗曹洞派皓臺寺末

寛延三年皓臺寺僧盧山虛無寺長福山玖崎寺ヲ讓リ受

ケ山号寺号ヲ改メ皓臺寺末寺トス

明治十年七月瀝
之平町ニ移轉ス

神社佛閣

長崎年表

〇十九

法嶺山妙行寺

境内六百五十六坪

戸町村大浦郷

一向宗東派本願寺末

寛文三年大村因幡守建立ス

鍋冠山誠孝院

境内三百廿一坪

戸町村大浦郷

日蓮宗大村本經寺末

創建年代未詳

橋梁 明治二十年九月調査

一瀬橋

上長崎村 本河内郷ヨリ
中川郷ニ架ス

石造半圓 長四間五合
幅二間六合

承應二年五月穎川道隆架之

阿彌陀橋

長崎區 伊勢町ヨリ八
幡町ニ架ス

石造半圓 長六間八合
幅一間七合

元祿三年十一月豪商園山善爾架之橋傍元阿彌陀堂ア

リ故ニ橋名トス又極樂橋ト呼フ

高麗橋

同上 太神宮前
ニ架ス

石造半圓 長六間六合
幅二間三合

承應元年十二月明人江平府等架之○慶應二年四月翹

屋町商池島正助私費更架ス費金三百八十兩

大井手橋

大井手町ヨリ本
紙屋町ニ架ス

石造半圓 長十間八合
幅二間三合

元祿十一年十一月岡正敏私費架之林道榮銘ヲ作ル○
元文五年更架ス○寛政七年七月十九日洪水ノ爲メニ
壞崩ス○文化元年九月再架ス費銀十二貫目

編笠橋

今博多町ヨリ本
紙屋町ニ架ス

石造半圓 長十間
幅二間五合

元祿十二年岸村某夫妻私費架之車渡明津ノ文ヲ鏤ス
○寛政七年七月ノ洪水ニ崩ル○享和二年八月再架費
銀十二貫目

古町橋

古町ヨリ本紙
屋町ニ架ス

石造半圓 長九間三合
幅二間四合

元祿十年十二月河村嘉兵衛母妙了尼私費架之○享保
六年七月廿八日洪水ノ爲ニ崩ル○元文四年周傳再架

ス○寛政八年六月六日洪水ノ爲ニ崩ル○享和三年九
月再架費銀十二貫目

一覽橋

桶屋町ヨリ本
紙屋町ニ架ス

石造半圓 長十間
幅二間四合

明曆三年五月渤海久兵衛(高一覽
ト稱ス)財ヲ募リ架之立度
人師菩薩ノ字ヲ石ニ刻ス○寛政七年七月ノ洪水ニ崩
ル○享和元年九月再架費銀十二貫目

芋原橋

紺屋町ニ架ス

石造半圓 長九間二合
幅二間四合

延寶九年架之○寛政八年六月ノ洪水ニ崩ル○文化元
年七月再架費銀十二貫目

東新橋

本大工町ヨリ
新橋町ニ架ス

石造半圓 長十間
幅二間五合

長崎年表

寛文十三年架之○寛政七年七月ノ洪水ニ崩ル○寛政十二年十一月再架費銀十二貫目

魚市橋

今魚町ヨリ
方町ニ架ス

木造 長十二間六合
幅二間二合

元祿十二年三月岡正敏石橋ヲ架シ高立岱銘ヲ作ル○寛政七年七月ノ洪水ニ崩ル○其十二年十一月石橋ヲ再架ス費銀十二貫目○文化七年三月五日洪水ノ爲ニ崩ル○文化十年八月木橋ヲ架ス

眼鏡橋

酒屋町ヨリ西
古川町ニ架ス

石造双圓 長十二間五合
幅二間六合

寛永十一年明僧興福寺住職如定架之長崎石橋ノ創始トス○慶安元年平戸好夢修之爾後數度ノ洪水一モ破

損アルヲナシ

袋橋

袋町ヨリ西古
川町ニ架ス

石造半圓 長十間五合
幅二間四合

架設年代未詳

古川橋

本紺屋町ヨリ西
古川町ニ架ス

石造半圓 長十間五合
幅二間四合

延寶七年明人魏爾潛石廊橋ヲ架ス○寛政七年七月ノ洪水ニ崩ル○享和三年七月再架費銀十二貫目

櫻津橋

材木町ヨリ板
津町ニ架ス

石造半圓 長十三間
幅二間四合

舊廊橋ヲ架ス○寛文六年石橋ニ更ム○寛政七年七月ノ洪水ニ崩ル○寛政十一年十一月再架費銀十二貫目

萬橋

築町ヨリ萬
屋町ニ架ス

石造半圓 長十三間
幅二間四合

長崎年表

延寶六年京人某贖罪架之○寛政八年六月ノ洪水ニ崩ル○享和元年八月再架費銀十二貫目

鐵

橋始メ大橋ト稱ス 築町ヨリ西濱町ニ架ス

鐵桁長十五間幅三間七合

寛永九年奉行竹中采女正木廊橋ヲ架ス○寛文中廊ヲ除ク○此橋洪水ノ爲ニ流崩スル者數度○寛政十一年四月無柱木橋ヲ架ス○慶應三年七月亦流ル○明治二年八月製鐵所ニ命シ鐵橋ヲ架ス費金一萬六千兩餘之ヲ本邦鐵橋ノ創始トス

長久橋

同上

木造長十三間三合幅二間二合

寛永中島原城主松倉豊後守之ヲ架ス人豊後橋ト呼フ

後長久橋ト改ム此橋洪水ノ爲ニ流崩スルモノ數度

新大橋

築町ヨリ新地町ニ架ス

木造長三十二間幅二間五合

明治二年架之費金二千六百七拾七兩餘

以上十八橋一瀬川ニ架ス

中川橋

上長崎村中川郷ニ架ス

石造半圓長三間五合幅一間六合

承應三年三月唐通事林主暨架之

右一橋一瀬川支流鳴瀧川ニ架ス

大手橋

長崎區新大工町ヨリ馬町ニ架ス

石造半圓長七間幅二間四合

此橋舊新橋ト稱シ後堂門橋ト呼フ世傳フ長崎氏ノ馬場郷ニ據ルヤ廊橋ヲ架シ畫棟朱欄金碧交輝スト寛文

ノ地圖尙木廊橋ナリ○慶安三年十月高一覽石橋ヲ架ス

桃溪橋

出來大工町ニ架ス

石造半圓

長六間六合
幅一間九合

延寶七年十一月僧ト意財ヲ募リ架之因テト意橋ト名ク當時兩岸桃樹多シ街ヲ桃樹大工町ト呼フ故ニ詩人等桃溪橋トス終ニ橋名トス

以上二橋天神川ニ架ス

愛宕橋

下長崎村高野平郷ニ架ス

木造

長三間二合
幅二間二合

明治二十年六月架之費金八拾六圓餘

玉帶橋

長崎區油屋町ヨリ本石灰町ニ架ス

石造半圓

長五間三合
幅一間九合

慶安四年二月奉行馬場三郎左衛門架之

明治新橋

同上

木造

長四間七合
幅一間七合

始メ油屋橋ト稱ス架設年代未詳○明治十八年七月更架ス

矢柄橋

同上

木造

長四間三合
幅九合

天保十二年架之

思案橋

兩鍛冶屋町ヨリ本石灰町ニ架ス

石造半圓

長四間七合
幅二間九合

舊木廊橋ヲ架ス○後土橋ヲ架ス○又木廊橋トス○明治八年石橋ヲ架ス

濱崎橋

本石灰町ヨリ銅座町ニ架ス

木造

長四間七合
幅一間七合

往古竹谷勘右衛門竹谷仁兵衛私費土橋ヲ架ス○嘉永五年石橋ニ更ム○後木橋ニ更ム

銅座橋 船大工町ヨリ 銅座町ニ架ス 石造半圓 長七間四合 幅一間五合

享保十年土橋ヲ架ス○嘉永四年五月石橋ニ更ム費銀十六貫五百目餘

廣馬場橋 廣馬場町ヨリ 新地町ニ架ス 木造 長十間三合 幅二間三合

元祿十五年土橋ヲ架ス○後石橋ニ更ム

新橋 梅香崎町ヨリ 新地町ニ架ス 木造 長十八間一合 幅二間二合

明治十三年十一月架之費金五百七拾四圓餘

梅香崎橋 同上 木造 長十五間 幅二間九合

明治二年二月架之費金六百三十五兩餘○明治二十年

八月釣橋ヲ架ス費金貳千七圓餘

新地橋 新地町ヨリ 濱町ニ架ス 石造半圓 長八間三合 幅二間八合

元祿十五年木橋ヲ架ス○天明五年埋メテ道路トス○

寛政三年復水流ヲ疏通シ木橋ヲ架ス○文化元年九月

石橋ニ更ム

以上十一橋玉帶川ニ架ス

岩原橋 上筑後町ニ架ス 石造 長二間三合 幅二間

正德五年架之

立山橋 東上町ニ架ス 石造 長二間七合 幅二間五合

往古石橋ヲ架ス○天明六年長崎會所ヲ弘ルニ及ヒ位
地ヲ變ス○明治二年十二月舊地ニ復シ石橋ヲ架ス

筋違橋

東中町ニ架ス

石造 長一間七合
幅四間

架設年代未詳

無名橋

小川町ヨリ東
中町ニ架ス

石造 長一間九合四夕
幅一間一合四夕

同上

無名橋

小川町ヨリ東
中町ニ架ス

石造 長二間
幅一間一合

同上

小川橋

小川町ニ架ス

石造 長一間六合
幅二間

同上

無名橋

船津町ヨリ惠
美須町ニ架ス

木造 長三間
幅五尺

天明五年架之

船津橋

船津町ヨリ惠
美須町ニ架ス

木造 長五間三合
幅一間二合

天明五年木橋ヲ架ス○嘉永七年十二月石橋ニ更ム○

明治十九年五月又木橋ヲ架ス

本新橋

同上

石造半圓 長七間六合
幅二間二合

寛文中木橋ヲ架ス○享保二年石橋ニ更ム

岩原橋

樺島町ヨリ大
黒町ニ架ス

木造 長九間八合
幅三間

明治十八年一月架之費金三百七拾九圓餘

以上十橋岩原川ニ架ス

屠鹿橋

磨屋町ニ架ス

石造 長一間二合 幅二間八合

稻荷橋

銀屋町ニ架ス

石造 長一間八合 幅二間九合

川添橋

東古川町ヨリ今 鍛冶屋町ニ架ス

石造 長二間 幅一間九合

鍛冶橋

本古川町ヨリ今 鍛冶屋町ニ架ス

木造 長二間三合 幅一間九合

孕橋

榎津町ヨリ今 鍛冶屋町ニ架ス

石造 長二間九合 幅二間四合

斜橋

齋屋町ヨリ今 鍛冶屋町ニ架ス

石造 長二間七合 幅二間一合

濱口橋

東濱町ヨリ今 鍛冶屋町ニ架ス

石造 長二間六合 幅二間八合

以上七橋溝渠屠鹿川ニ架ス

出島橋

江戸町ヨリ出 島町ニ架ス

石造半圓 長二間五合 幅二間五合

寛永元年出島町人木橋ヲ架ス○延寶六年石橋ニ更ム

出島新橋

出島町ヨリ 築町ニ架ス

木造 長十五間三合 幅三間

明治二年二月架之費金六百三十五兩餘

以上二橋出島ニ架ス

大浦橋

戸町村大浦郷ニ架ス

石造半圓 長五間五合 幅二間一尺

舊木橋ヲ架ス○天保年間石橋トス○明治十九年九月

林増五郎村川勝太郎私費更架ス費金四百貳拾圓餘

松枝橋

長崎區 常盤町ヨリ松 枝町ニ架ス

木造 長十四間九合 幅三間

明治三年八月架之費金千六百四十五兩餘

辨天橋

同上

木造 長十四間三合 幅三間

慶應元年六月架之費金七百五十兩

以上三橋下松川ニ架ス

思切橋 本石灰町ヨリ 船大工町ニ架ス 石造 長一間七合 幅二間六合

新道橋 銅座町ヨリ西 濱町ニ架ス 石造 長二間八合 幅一間六合

無名橋 東濱町ニ架ス 石造 長一間 幅二間四合七夕

唐子橋 同上 石造 長一間 幅三間九合三夕

引地橋 引地町ヨリ本 大工町ニ架ス 木造 長一間五合 幅一間六合

真中橋 引地町ヨリ酒 屋町ニ架ス 木造 長一間六合 幅二間一合

岩流橋 引地町ヨリ 袋町ニ架ス 石造 長一間五合 幅二間三合

紺屋橋 本紺屋町ヨリ 今下町ニ架ス 石造 長一間五合 幅一間九合

坂下橋 今下町ヨリ村 木町ニ架ス 木造 長一間三合三夕 幅二間一合

袖橋 築町ヨリ本 下町ニ架ス 木造 長二間 幅二間

西築橋 同上 木造 長一間八合 幅二間二合

永樂橋 同上 石造 長二間八合 幅一間三合

瓢潭橋 小曾根町ヨリ 浪之平町ニ架ス 木造 長二間三合 幅二間

古河橋 古河町ヨリ 浪之平町ニ架ス 木造 長二間四合 幅二間三合

以上十四橋溝渠ニ架ス

浦上大橋 浦上山里村家野郷ニ架ス 木造 長十七間三合 幅二間四合

明治九年架之

右浦上川ニ架ス

下川橋 同村 里郷ヨリ中野郷ニ架ス 木造 長十一間三合 幅二間一合

地獄橋ト稱ス

橋架

明治九年架之

右下川ニ架ス

長崎市街町名

外浦町	平戸町	大村町	萬歳町	本下町	今下町	本博多町	今博多町	金屋町
-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	-----

元龜二年ノ設置ニシテ長崎市街創始六町ノ一中古文知町ヲ合ス

市街創始六町ノ一中古横瀬浦町ヲ合ス

市街創始六町ノ一

市街創始六町ノ一始メ島原町ト稱ス明治五年行在所トナルヲ以テ其年九月萬歳町ト改ム

寛文十二年内下町ヲ分テ本下町今下町トス

始メ單ニ博多町ト稱ス今博多町ヲ設クルニ及ヒ本博多町ト改ム

町名

長崎年表

本五島町	浦五島町	樺島町	江戸町	築町	堀町	興善町	本興善町	新町	引地町
------	------	-----	-----	----	----	-----	------	----	-----

寛文十二年築町ヲ分テ東西二町トス
明治五年一月再ヒ合セテ築町トス

始メ後興善町ト稱ス寛文十二年割テ新興善町
ヲ置シ明治四年七月又合シテ興善町ト改ム

豊後町	櫻町	内中町	小川町	船津町	惠美須町	大黒町	今魚町
-----	----	-----	-----	-----	------	-----	-----

以上廿四町之ヲ内町ト稱ス天正十六年豊臣秀吉此地
ヲ公領トナスノ時己ニ市街ヲ爲セリ此時地租ヲ免ス

下町築出町浦築出町ヲ合シテ之ヲ
置ク寛文十二年割テ大黒町ヲ置ク
寛文十二年惠美須
町ヲ割テ之ヲ置ク

町名

長崎年表

寛文十二年古川町ヲ分テ東古川町西古川町本古川町ノ三町トス

本古川町	東古川町	西古川町	櫻津町	酒屋町	萬屋町	袋町	本紺屋町	東濱町	西濱町
------	------	------	-----	-----	-----	----	------	-----	-----

始メ東鍛冶屋町ト稱ス

寛文十二年濱町ヲ分テ東西トス

古町	大井手町	紺屋町	本大工町	本籠町	本石灰町	船大工町	出來鍛冶屋町	今鍛冶屋町	材木町
----	------	-----	------	-----	------	------	--------	-------	-----

延寶元年今鍛冶屋町ヲ割テ之ヲ置ク

始メ新船大工町ト稱ス

始メ今紺屋町ト稱ス寛文十二年割テ中紺屋町ヲ置ク明治八年三月再ヒ合シテ紺屋町ト改ム

始メ寄合町ト稱ス

町名

始メ新紙屋町ト稱ス
延寶八年今名ニ改ム

八幡町	麴屋町	桶屋町	諏方町	今博多町	伊勢町	本紙屋町	新橋町	磨屋町	銀屋町
-----	-----	-----	-----	------	-----	------	-----	-----	-----

俗アメガタ
町ト云フ

始メ新高麗町ト稱ス伊勢太神宮
ノ祈禱所ヲ建ルニ及テ之ヲ改ム

始メ毛皮屋
町ト稱ス

始メ今石灰町ト稱ス寛文十二年割テ新石灰町ヲ置ク俗ニ
祇園石灰町ト呼フ明治四年六月再ヒ合シテ八坂町ト改ム

寛文十二年新大工町ヲ割テ之ヲ置ク俗ニ川
ノ東ヲ桃ノ木大工町トシ西ヲ下大工町ト呼フ

寛文十二年馬町ヲ割テ南北トス
明治五年四月又合シテ馬町トス

寛文十二年筑後町
ヲ分テ上下トス

寛文十二年上町
ヲ分テ東西トス

寛文十二年中町
ヲ分テ東西トス

八坂町	油屋町	出來大工町	新大工町	馬町	上筑後町	下筑後町	東上町	西上町	東中町
-----	-----	-------	------	----	------	------	-----	-----	-----

町名

西中町

勝山町

始メ新籠町ト稱ス俗ニ大音寺籠町ト稱ス

今籠町

爐粕町

八百屋町

以上四十八町天正十六年以後ノ新設ニシテ之ヲ外町

ト稱シ幕府へ毎年地租定額銀五十貫九十目ヲ納ム

丸山町

寄合町

以上二町寛永十九年新設ニシテ遊廓ナリ

銅座町

始メ銅座跡ト稱ス明治元年七月町名ヲ付シ東銅座町西銅座町トス同年十月合シテ銅座町ト改ム

梅香崎町

元長崎村ノ内

小曾根町

元戸町村ノ内文久年間小曾根榮ノ埋築スル所也

浪平町

文久年間大浦郷ノ地外國人居留地トナルヲ以テ該地住民移住ノ爲メ幕府海ヲ埋メ戸町村ニ編入ス

古河町

同上

以上四町明治年間新ニ市街ニ編入シタルモノトス

出島町

寛永十三年南蠻人居館ノ爲メ海ヲ埋ム寛永十八年ヨリ蘭人居留地ナリ

新地町

元禄十五年唐船荷藏建築ノ爲メ海ヲ埋ム開港後支那人ノ居留地トナル

廣馬場町

梅香崎町

常盤町
大浦町
松枝町
東山手町
南山手町

始メ下松町トス

以上九町外國人居留地トス出島町新地町ノ外皆開港後ノ新開トス

廢町名
下町 築出町 浦築出町

以上三町合シテ惠美須町ト成ル

文知町
横瀬浦町
内下町
東町
本御座町
新御座町
寄合町
新高麗町
新紺屋町

外浦町ニ合ス
平戸町ニ合ス
本下町今下町ニ分ル
櫻町ニ合ス俗キツウ町ト呼フ
東中町ノ地
城粕町八百屋町ニ分屬ス
古町ト改ム
伊勢町ト改ム
翅屋町今紺屋町ニ分ル

町名

毛皮屋町 新橋町
ト改ム

皮田町 大音寺踏臺寺
境内ニ入ル

東鍛冶屋町 萬屋町
ト改ム

歌舞妓町 新歌舞妓町

以上二町東古川町ノ地

新籠町 今籠町
ト改ム

新船大工町 船大工町
ト改ム

新銀屋町 寺町通
ノ地

新紙屋町 八幡町
ト改ム

島原町 萬歳町
ト改ム

後興善町 新興善町

以上二町合併興善町ト改ム

今石灰町 新石灰町

以上二町合シテ八坂町ト改ム

東築町 西築町

以上二町合シテ築町ト改ム

今紺屋町 中紺屋町

以上二町合シテ紺屋町ト改ム

北馬町 南馬町

以上二町合シテ馬町ト改ム

町名

長崎年表

長崎年表

下松町 松枝町
改

長崎鄉村名

上長崎村

明治二十年長崎村
ヲ分テ上下トス

馬場郷

伊良林郷

中川郷

本河内郷

木場郷

片淵郷

夫婦川郷

西山郷

岩原郷

船津郷

下長崎村

十善寺郷

高野平郷

小島郷

浦上山里村

里郷

中野郷

家野郷

本原郷

元馬込郷

中馬込郷

舊有平野宿荷尾郷岡
口郷濱口郷今廢ス

鄉村名

長崎年表

浦上淵村

寺野郷

竹久保郷

稻佐郷

平戸小屋郷

水浦郷

船津郷

飽浦郷

岩瀬道郷

西泊郷

瀬脇郷

立神郷

木鉢郷

小瀬戸郷

戸町村

上郷

下郷

美濃郷

浪平郷

大浦郷

茂木村

本郷

田上名

木場名

飯香浦名

大崎名

千々名

宮摺名

日見村

古賀村

川原村

高濱村

野母村

榊島村

奉行沿革

付奉行所

屬吏

目付在勤

勘定普請役

文祿元年豊臣秀吉長崎奉行ヲ置ク○本博多町ニ奉行所ヲ置ク

寛永九年竹中采女正罪アリ屠腹ス

寛永十年奉行二人トナル○奉行所出火焼亡ス○奉行所ヲ外浦町ニ移ス

寛政十五年奉行在任トナル○與力五人同心二十人ヲ屬ス

○奉行所ニ年行司ヲ置ク

寛文三年奉行所延焼ニ罹ル○奉行所ヲ再築ス

寛文五年與力五人同心十人ヲ増ス

延寶元年立山ニ奉行所ヲ置ク

延寶六年西役所延焼ス

貞享四年奉行三人トナル○與力同心ヲ廢ス

元祿三年奉行諸太夫席トナル

元祿十一年西役所出火燒亡ス○諏方下總守職ヲ免ス

元祿十三年奉行四人トナル

正徳三年奉行三人トナル

正徳四年奉行二人トナル

正徳五年奉行役所付二十人ヲ置ク○目付在勤ス

延享元年兩役所瓦葺ニ改ム

明和八年勘定普請役在勤ス

寛政五年手附出役ヲ置ク

文化五年八月松平圖書頭自殺ス

文政三年手附出役ヲ廢ス

天保九年目付在勤止ム

天保十三年與力十人同心十五人ヲ屬ス○奉行役料金三千

兩トナル○年行司以下ヲ廢ス

天保十四年奉行一人トナリ支配組頭ヲ置ク○目付在勤ス

弘化三年奉行二人トナル○與力同心ヲ止メ更ニ手附出役

ヲ置ク○奉行役金初在勤六千兩二在勤以後四千五百兩

トナル

安政三年目付在勤止ム○支配吟味役ヲ置ク

安政五年支配調役下役等ヲ置ク○吟味役ヲ組頭ト改ム

安政六年下役ヲ定役ト改ム

文久三年長崎總奉行ヲ置ク

元治元年總奉行ヲ廢ス

慶應元年奉行場所高二千石役料米二千俵在勤役金三千五

百兩トナル○長崎奉行並ヲ置ク

慶應三年奉行在勤役料金四千兩並二千兩トナル

代官沿革

文祿元年村山東安代官ニ任ス

元和二年村山東安罪アリ斬ニ處ス○末次平藏政直代官ニ

任ス

元和六年明國福建都督某書ヲ末次平藏ニ贈ル

寛文九年日見村列七ヶ村長崎代官ニ屬ス

延寶四年末次平藏茂朝父子罪アリ隱岐ニ流ス○代官ヲ置

カス町年寄其事務ヲ理ス

元文四年御用物方高木作右衛門長崎浦上兩村代官ニ任シ

仍御用物方ヲ兼ヌ

長崎年表

明和五年七ヶ村長崎代官ニ屬ス

天明元年米廩并寺社ノ事務代官ニ屬ス

文政五年高木作右衛門勤役中五十俵ヲ増加ス

弘化三年高木作右衛門職ヲ免シ子健三郎之ヲ襲ク

町年寄沿革

天正十五年高木勘右衛門高島良悦後藤總太郎町田宗賀四

人長崎頭人トナル

後町田家斷絶高木彦右衛門其欠ニ補ス年代未詳

天正十六年毎年首頭一人幕府ニ候シ正ヲ賀ス

文祿元年頭人ヲ町年寄ト改メ外國通商ヲ許ス

寛文二年高木作右衛門御用物役ニ任シ高百俵トナル

是ヨリ高木當

主御用物方トナリ嗣子町年寄ヲ襲ク

延享三年高木作兵衛御用物役ニ任シ養子傳左衛門町年寄

ヲ繼ク

是ヨリ高木雨家トナル

元祿十年高木彦右衛門唐蘭商賣元締兼代物替及濱藏買入

米管理ニ任ス○外町常行司藥師寺又三郎新ニ町年寄ニ任ス

元祿十二年外町常行司福田傳次兵衛久松善兵衛町年寄ニ任ス

元祿十三年高木彦右衛門代物替會所頭人兼御船御武具預ニ任シ高八十俵トシ帶刀ヲ許ス○十二月深堀家士等高木彦右衛門ヲ殺ス

享保十八年高島八郎兵衛一代町年寄ニ任ス

寶曆五年福田十郎右衛門一代町年寄ニ任ス

明和元年後藤總左衛門町年寄上席長崎會所調役ニ任シ高

七十俵トシ一世間帶刀ヲ許ス

明和五年福田十郎右衛門世襲トナル

明和七年久松土岐太郎町年寄末席ニ任ス

天明五年長崎會所調役ヲ置キ町年寄ヲ以テ之ニ任ス○唐

大通事林梅郷町年寄末席並會所改役ニ任シ十人扶持受

用銀二十五貫目トス

享和二年帶刀ヲ許ス

文化四年高木清右衛門高七十俵五人扶持トナル

文化五年高島作兵衛世襲トナル

文化七年町年寄末席久松喜兵衛一世町年寄ニ任シ十五人

扶持トナル

文政五年高島四郎兵衛高七十俵五人扶持トナル○久松喜

兵衛世襲トナル

文政九年高島作兵衛藥師寺久左衛門高七十俵五人扶持ト

ナル

天保十二年高島四郎太夫長崎會所調役頭取ニ任シ諸組與

力格トナル○福田安右衛門末松喜兵衛高七十俵五人扶

持トナル

天保十三年十月高島四郎太夫獄ニ下ル

天保十四年福田源四郎放役トナル

弘化二年高島四郎太夫追放ニ處シ尙安中侯ニ錮ス

弘化四年町年寄見習高島淺五郎職ヲ免シ更ニ五人扶持ヲ

給ス○福田源四郎嗣子順六郎更ニ無役トシ毎年銀三貫

目ヲ給ス

安政五年會所調役ヲ頭役ト改ム

慶應三年地役改革町年寄七人新ニ長崎奉行支配調役並ニ

任シ高百俵トナル

長崎年表

創始

文祿元年

一御代官一人 御目見以上

高百俵銀四十五貫目

文政二年

一御鉄炮方一人 御目見以上末席

高十五人扶持

正徳四年

一書物改一人 御請代席

高三十俵二人扶持銀六貫三百六十目

元祿六年

書物改手傳四人

銀一貫五百目

享保四年

書記役三人

銀二貫四百目
二貫百六十目

加役 書記兼勤一人
信牌掛一人

銀五百四十目
銀三百目

文祿元年

一町年寄七人

高七十俵五人扶持銀廿九貫目乃至十二貫目
高十五人扶持銀十五貫目

見習二人 銀三貫目

加役 會所頭役二人
年番一人
添年番一人

役扶持五人扶持
銀二十五貫目
銀十貫目

地役人表

長崎年表

〇四十四

長崎地役人表

慶應元年ノ調査明細分限帳ニヨル〇高ト書スルハ切米扶持米ニシテ老中ノ証書アルモノ其他ハ會所買入米ニ係ル

長崎年表

弘化四年

年番付書物役二人 銀四貫二百五十目

一町年寄見習無役一人 銀三貫目

慶長九年

一長崎系割符宿老四人 高七人扶持銀十貫目

筆者七人 銀一貫五十目
內一人給米五俵並給

付總代十一人 銀六百五十目。五百五十目

小使六人 銀五百五十目

慶長九年

一四ヶ所宿老四人 銀四貫目
京大坂 江戸堺

一長崎會所

享保元年

目付二人 高五人扶持銀八貫目

元治元年

產物所目付二人 高五人扶持銀八貫目

正徳三年

吟味役八人 頭取吟味役 並助助格

高五人扶持銀七貫八百目乃至七貫五百目

元禄十一年

請拂役十二人 高三人扶持銀七貫七百目乃至四貫二百五十目

同助並十四人 並格 銀四貫目。三貫目。三百目
銀一貫八百十文

請拂役以下加役

元方年番三人 銀二貫三百目

拂方年番三人 銀二貫目

勘定掛三人 銀二貫目

俵物方掛三人 銀二貫目

請込方掛三人 銀一貫八百目

普請吟味掛三人 銀一貫六百目

雜用掛三人 銀一貫六百目

諸返納取立掛兼米方掛二人 銀一貫四百目

銅方掛二人 銀一貫三百目

役所番二人 銀一貫五百目給米五俵

筆者七十五人 小頭小頭 助並格 銀二貫百二十目乃至六百五十目
內五十二人給米五俵並給

地役人表

長崎年表

長崎年表

加役 二十六人
一人

銀二百目
銀百五十目

筆者並家守一人

銀一貫百四十目給米五俵

金見二人

銀一貫二百目
給米五俵

銀見三人

銀一貫百目給米五俵

藏番五人

銀一貫目給米五俵

小役十六人

銀一貫目九百目
內八人給米五俵並給

手代 五百目

加役 九人
五人

銀九十目
銀二百目

札讀二人

銀八百目給米五俵

筆者手傳二十三人

銀八百目乃至五百目
內十九人給米五俵並給

加役 十七人
二人

銀九十目
銀六十五目

小使三十六人

銀八百五十五匁乃至五百五十目
內十九人給米五俵一人給米二俵並給

加役十八人

銀八十目

極印打二人

銀八百目給米五俵

日履頭二人

銀百五十目

一諸目利

寛文十一年

書物目利三人

銀九百九十目九百四十五匁

寛文八年

伽羅目利四人

銀一貫八百目一貫六百二十目

寛永十三年

鮫目利五人

銀一貫三百三十目

寛永年中

端物目利七人

銀二貫五百目二貫二百五十目

地役人表

長崎年表

〇四十六

寬永年中	加役 <small>年番二人 直組方二人</small>	銀百目 銀四百目
	筆者二人	銀二百二十目
	藥種目利十三人	銀三貫九百五十目
	<small>御藥園掛三人 年番二人</small>	銀三百目 銀百目
	加役 <small>直組方二人 調進藥種掛四人</small>	銀四百目 銀六十目
	筆者二人	銀二百二十目
	御藥園掛手傳二人	銀五百目
	<small>加役二人</small>	銀五十目
天和元年	小藥屋二十二二人	銀四百三十目
	油藥目利一人	銀三百三十目
寬永十二年	糸目利二人	銀一貫八百五十目

元祿十年	糸掛役三人	銀二貫二百五十目
	端物手本見二人	<small>京 銀二百目 四ヶ所 銀一貫三百二十目</small>
	四ヶ所荒物手本見一人	銀一貫二百目
	茶碗藥目利二人	銀九百五十目
元祿十年	漆目利三人	銀七百五十目
元祿四年	唐物目利四人	銀一貫五百十匁乃至一貫目
	加役唐筆目利兼一人	銀二百目
元祿十年	唐繪目利四人	銀一貫五百目。一貫二百九十目
延寶元年	玉目利二人	銀八百六十目。六百八十五匁
寬永六年	鹿皮目利十五人	銀七百十匁

地役人表

長崎年表

寛文十三年

鹿皮手本見一人 銀七百五十匁

牛皮目利三人 銀七百五十目四百三十目

手傳三人 銀四百三十目

寛永十三年

搥硝目利一人 銀百三十目

一町方

元龜二年

乙名七十七人 銀四貫目 頭取四人五人扶持並給

加役年行司二人 銀九貫目

精荷役立會兼唐館糧米方立會四人 銀二貫三百目

產業掛二人 銀一貫八百目

不時見回方掛四人 銀三百目

普請方立會二人 銀六百目

俵物方掛二人 銀一貫二百目

銅座跡掛二人 銀二百十匁

貫銀方掛一人 銀百二十目

出島外回火消掛一人 銀二百四十目

寛永十九年

組頭百五十四人 銀三百目

丸山町 寄合町 乙名二人 銀二貫目

同組頭八人 銀二百目

宿町 元龜年中 付町 寛文中

唐船掛 宿町 筆者五十六人 銀一貫八百七十五匁乃至二百五十目

加役產業掛付二人 銀五百目

同山兩町二人 銀三十目

同筆者付小使一人 銀二百十五匁

日行使七十七人 銀七百目

加役 精荷掛立會付一人 銀百五十目

長崎年表

次送道具掛二人
産業掛付四人

銀百六十目
銀百六十目

山内町日行使二人

銀三百目

銅座跡支配付日行使一人

銀一貫目

一奉行所諸役

定役勤方當分御雇二人

高四十俵五人扶持銀二貫六百五十目
高三十俵三人扶持銀二貫四百三十目

御役所付觸頭十人

高四十俵五人扶持銀二貫六百五十目
高三十俵三人扶持銀二貫四百三十目

御役所付四十五人

高三十俵三人扶持銀二貫四百三十目
二人扶持銀二貫四百四十目乃至二貫百四十目

公事方掛書物改方同書役七人銀三貫三百三十目乃至二貫五百目

八朔帳面方二人

銀百六十目

兩役所辻番六人

銀五百目給米三俵

正徳五年

同年

天和二年

廣間書役二人

銀二貫五百目

年行司部屋番三人

銀一貫十匁
八百六十五匁 給米五俵

同小使十七人

銀八百六十五匁給米五俵
銀八百六十五匁八百目

勝手部屋番六人

銀一貫四十五匁給米五俵

同小使二十八人

銀八百目給米五俵
銀七百六十五匁

寄場門番人
兼屋敷番 十人

頭取 銀八百四十目給米十五俵
銀七百二十五匁給米六俵 銀八百目給米五俵

寄場小使四人

銀五百目

立山屋敷裏回番一人

銀二百十五匁給米一石二斗

岩原屋敷水番一人

銀六十目

一御船々頭役二人

高十人扶持銀一貫二百目給米十俵
畑四百坪

慶安元年

地役人表

長崎年表

〇四十九

長崎年表

萬治二年

水主十人

觸頭

高四人扶持畑二百坪銀百三十五匁

一遠見番二十四人

高二十俵三人扶持銀二貫四百九十目
高二十俵二人扶持銀一貫七百四十目
銀一貫五百目二人扶持

加役 唐船出迎沖見送三人
唐船出迎十七人

銀四百八十目
銀五十目

增見習二人

銀一貫五百目

野母水主十人

高四人扶持銀百九十五匁給米二俵

小瀬戸水主二十人

觸頭

高四人扶持銀百九十五匁給米二俵

元祿元年

一唐人番二十人

高七石二人扶持銀二貫二十目
高七石二人扶持銀一貫七百目

唐人屋敷大門筆者二人

銀五百目給米二俵

同小使四人

銀五百四十目給米二俵

延寶元年

一御武具 藏預五人
御用物

銀三貫目二人扶持
銀二貫五百目

寛文十二年

藏番五人

銀七百五十目
六百七十五匁 一人扶持給米三俵

一船番二十人

銀二貫四十目二人扶持

加役沖見送三人

銀四百三十目

流金道具目利二人

銀五百目

一運上所付帳面掛九人

銀九百目乃至八百目給米五俵
銀一貫八百目一貫四百目

一英コンシユル館番人二人

銀八百六十五匁給米五俵
銀七百十五匁

一探番三十八人

銀九百二十目乃至四百五十目
內七人給米五俵三人給米三俵四人給米二俵
並給

一唐人屋敷外面湊番所小使十人

銀五百七十目乃至五百目
給米三俵或ハ一俵並給

一町司十九人

銀二貫百四十目二人扶持

慶長八年

加役 沖見送三人
定乘五人

銀四百三十目
銀百二十目

地役人表

長崎年表

〇五十

慶長八年

町司格一人

銀一貫五百目 二人扶持

御屋敷仲宿番二人

銀三百三十目 給米一俵

一散使六人

頭取 銀二貫五十目
一貫八百五十目 二人扶持

人夫觸宛四人

銀六百七十目 乃至六百目
內一人給米五俵並給

一唐人屋敷

乙名四人

銀九貫五百二十目

組頭四人

銀五貫二百七十目 五貫目

乙名付筆者十一人

小頭 銀二貫百二十目
銀一貫五百目

日行使二人

銀一貫五百七十目

臺所番二人

銀六百五匁 銀六百目

元祿元年

內小使四人

銀六百目 四百九十目

外小使八人

銀八百目 乃至六百目
內一人給米五俵 一人二俵並給

辻番八人

銀七百六十五匁

一出島

組頭二人

內一人無給

銀一貫三百目

町用取扱掛付筆者四人

銀一貫四百目

日行使一人

銀五百五匁

小使一人

銀百三十目

日雇頭八人

銀百二十五匁

火用心番三人

銀六百五匁

一唐通事

元文元年 諸立會大通事 定直組立會 一人

高五人扶持銀十二貫目

元祿八年 通事目付二人

高五人扶持銀七貫目
銀四貫目三人扶持

慶長年中 大通事五人

高五人扶持銀十二貫目十貫目
高三人扶持銀七貫目

加役 年番一人
直組方一人

銀二十一貫二百目
銀十貫目

小通事十四人

高三人扶持銀七貫目三貫五百目
銀五貫目乃至三貫目
銀四貫目一人扶持
一人扶持

加役 年番 直組方一人
館内遣用方一人

銀十貫八百目
銀七貫目
銀五百目

小通事並十一人

銀三貫五百目乃至二貫五百目

小通事末席十人

銀三貫目乃至二貫五百目

元文四年 享保三年

承應二年

稽古通事三十人

銀三貫目乃至一貫八百七十目
銀四百五十五匁

小通事並以下加役 年番付一人

銀一貫五百目

同手傳十四人
館内遣用方手傳二人

銀一貫三百目
銀五百目

直組方付一人
同手傳十一人

銀一貫五百目
銀一貫三百目一貫二百目

俵物直組方手傳二人

銀一貫二百目

寬永十二年

唐年行司二人

銀一貫九百目一貫八百四十目

加役直組方手傳二人

銀一貫二百目

寬文六年

内通詞小頭三人

銀一貫五十目九百五匁二百五匁

加役 年番手傳二人
直組方手傳二人

銀一貫二百目

元祿十二年

東京通事一人

銀三百六十目三人扶持

地役人表

唐通事付筆者九人 銀一貫九百目乃至一貫二百目
 加役直組方付二人 銀三百九十目
 通事會所家守一人 銀七百五十目
 通事付小使二十人 銀九百五十五匁乃至五百十五匁
 同外小使五人 銀七百七十五匁
 唐人屋敷通事部屋下働二人 銀四百五十五匁
 通事會所番一人 銀二百八十目
 年行司付小使二人 銀二百十匁
 内通詞小頭付筆者二人 銀五十目
 同小使二人 銀八百四十五匁。五百十五匁

元祿八年

唐船綱碇預一人

銀六百十五匁

一阿蘭陀通詞

目付一人

高五人扶持銀七貫目

寬永十七年

大通詞七人

高五人扶持銀十一貫目
銀十一貫目三貫目

加役 年番一人
御用物方二人

銀二十四貫七百目
合銀三貫七百五十目(小通詞三人分トモ)

明曆二年

小通詞十人

高三人扶持銀五貫三百目、四貫五百目
銀五貫三百目乃至二貫目

加役 年番一人
御用物方三人
書籍掛二人

銀十二貫九百目
銀七百五十目

延享四年

小通詞並六人

銀三貫目三人扶持
銀三貫五百目乃至二貫目

享保十九年

小通詞末席十六人

銀三貫目。二貫七百目。一貫五百目

通詞付筆者十三人

銀一貫九百目乃至八百五十目

寛文十二年

同小使十人

銀六百目

同筆者小使一人

銀二百目

稽古通詞十九人

高三人扶持銀一貫五百目
銀三貫目乃至一貫目

筆者一人

銀三百目

英語小通詞二人

銀一貫五百目

内通詞小頭一人

銀九百二十八匁

筆者二人

銀八百五十目

小使一人

銀五百目

一貫銀方役二人

銀一貫五百目

筆者二人

銀六百目

正徳五年

寛文五年

小使二人

銀三百目

一普請方役五人

銀二貫三百目。一貫八百目

筆者九人

銀一貫二百五十五匁乃八百五十五匁至

大工棟梁。脇棟梁四人

銀九百五十五匁七百三十五匁

繪圖書一人

銀五百目

小使十人

銀七百五十目乃至五百目

用所家守一人

銀二百目

賄人三人

銀三百目

一波戸場役二人

銀三貫目

筆者二人

銀一貫目 給米十俵
銀七百目

寛永十二年

長崎年表

小使二人

銀四百三十五匁給米六俵

鯨船々頭四人

銀三十七匁五分

同水主二十八人

銀十匁

一用醫師二人

銀四百目

一牢屋唐人醫師十五人

銀七百二十目乃至三百二十目

一牢守一人

銀一貫六百二十目給米五俵六斗六升

牢番十三人

見習 銀四百六十四匁
頭取 銀四百二十九匁給米一俵二斗四升

一北瀬崎御米藏預十二人

頭取 銀三貫目二貫六百目四人扶持
見習 銀三貫目乃至二貫四百七十五匁二人扶持

藏番十二人

銀一貫百五十目一人扶持給米五俵

筆者二人

銀一貫五百目給米五俵

寛文十一年

寛永年中

慶長十二年

享保四年

- 米見二人 銀九百目給米五俵
- 小使四人 銀一貫五十目給米五俵
銀七百六十五匁
- 升取二人 銀四百五十目給米五俵
- 外回番一人 銀九十目
- 南瀬崎藏番十人 銀六百八十五匁給米五俵
- 加役探番八人 銀二百五十目
- 小使二人 銀五百二十目給米五俵
- 一水樋役一人 銀二貫目
- 一諏方社々用人五人 銀一貫百三十目
- 一能太夫一人 銀二貫四十目

延寶二年

寛永十一年

地役人表

長崎年表

〇五十五

元祿四年

能役者二十九人 合銀三貫百四十目

一御用物方

御代官手代四人 銀七百十五匁

御用物指物吟味役三人 銀二貫目

荷造三人 銀百五匁

御時計師二人 銀一貫八百十匁
三人扶持

御目鏡師二人 銀三貫目
三人扶持

御漬物師一人 銀六百目

同手傳二人 銀三百目

御用物細工師十九人 銀七百五十目乃至五十目
三人扶持

木地師 繩屋 表具師 張付師 玉細工師 鋳師 銀細工人
彫物師 鑄物師 唐木細工師 鍛冶師

一新地頭人三人 銀四貫目

藏番十六人 銀六十五匁給米一俵

一米方掛

御代官手代二人 高二十俵二人扶持銀七百五十目

書物役二人 銀一貫八百八十目給米五俵

一御救銀取調所請拂役六人 頭取 銀一貫目三人扶持
銀二貫目二人扶持

一銀札改役五人 銀二貫五百目

小使二人 銀七百二十五匁

一銅掛役一人 銀六百五十目

元文四年

地役人表

寛永七年

- 一三ヶ村庄屋三人 銀一貫目
- 一諏訪社神主一人 銀五十六貫八百目
- 祝一人 銀五貫目
- 一安禪寺塔頭多聞院 銀一貫百目給米十俵
- 一御靈屋手傳本覺寺 銀百目
- 一書物改春徳寺 銀五百八十目。二十枚
- 一助成
- 稻佐萬祿 銀百四十目
- 一生間六人 銀九百目。七百目。五百五十九匁。二百十匁。三人扶持
- 一系割符方

- 宿老三人 銀一貫五百目
- 糸掛役三人 銀八十七匁
- 藏番五人 銀五百五十目
- 銀見三人 銀九十目
- 銀掛三人 銀七十二匁
- 同手傳二人 銀四十三匁
- 極印打二人 銀八十六匁
- 宿老付筆者六人 銀二百目
- 同惣代十人 銀百目
- 五ヶ所會所筆者小頭二人 銀百五十目

地役人表

同家守一人	銀三百三十目
同元締一人	銀三百三十目
同札讀二人	銀四匁
同手傳四人	銀四十三匁
同小役三人	銀二百二十三匁
同日雇頭三人	銀九十目
同火消三十人	總合銀四百三十目
糸目利付筆者一人	銀七十二匁
同小使二人	銀六十目
同斤量手傳三人	銀三十目

同定雇小使一人	銀二百五十目
一御米方俵物用達二人	<small>下ノ關銀二貫目 小倉二人扶持</small>
一大坂銅座役二人	銀二貫五百目
筆者五人	銀一貫五百目。一貫目

合計

御切米 <small>千九百三十俵 百四十石</small>	人員千九百十七人
畑地二千八百坪	<small>內無給百八十二人</small>
御扶持方六百四十六人扶持	
銀二千九百四十七貫十五匁	<small>受用銀、手當銀、 加役料、助成銀</small>
扶持米二百六十人扶持	

長崎地役人表

給米 千四百俵
四百八斗

長崎地役人表 慶應三年改革後ノ調査ニ係ル

- 一 高百俵 御代官一人
- 一 十五人扶持 御鉄炮方一人
- 一 高百俵 奉行支配 調役並七人
- 一 三人扶持 元町年寄見習無役 無役一人
- 一 高三十俵二人扶持 同 定役二十人
- 一 手當金三十五兩 同 勘定役元締五人
- 一 高三十俵三人扶持役金十五兩 同 勘定役十八人
- 一 手當金三十兩 同
- 一 高三十俵三人扶持 役金十五兩 同

- 一 高三十俵二人扶持 同心小頭十人
- 一 役扶持五人扶持 同 同心百九十一人
- 一 高三十俵二人扶持 同 同心見習十六人
- 一 手當金五兩 同 勘定役並十一人
- 一 高三十俵二人扶持 同 勘定役並見習一人
- 一 手當金五兩 同 書物役十人
- 一 高二十俵二人扶持役金十兩 同 書物役見習三人
- 一 手當金五兩 同

地役人表

長崎地役人表

〇五十九

一五人扶持 同 通詞百十八人

手當金百三十兩十八 百兩八人 七十五兩十三人 三十兩十九人
十五兩一人 十二兩一人 八兩一人 七兩八人 四兩一人

元唐通詞目付 大通詞 小通詞並 小通詞末席
稽古通詞 英語小通詞 東京通詞 內通詞小頭 雁通詞

一高二十俵二人扶持 同 上番七十人

元遠見番增見習 散使 御用物御武具藏預 書記役 會所請拂役並格
會所請拂役手加勢 同雇 藥種目利 端物目利 鮫目利 貫銀方役

普請方役
波戶場役

一高十二俵二人扶持 奉行御役所付 本船番二百九十二人

元銀札改役 糸目利 糸掛役 茶碗藥目利 漆目利 唐物目利
書物目利 唐繪目利 玉目利 鹿皮目利 同手本見 牛皮目利

牛皮目利手傳 諸役所筆者 唐人屋敷日行使 運上所帳面方
書物改手傳 會所請拂役手加勢雇格 會所役所番 御用物藏番

御武具藏番 會所家守 同筆者格 同小役 同金見 同録見
同藏番 同札讀 御船水主

一高十俵一人扶持 同 下番二百人

元崎陽詰番 唐人屋敷塀外辻番人 會所小役 同筆者手傳 諸役場小使
會所極印打 普請方繪圖書 御役所辻番人 人夫宛觸

一二人扶持給金二十兩 水主三十人

元野母小瀬戸
船頭水主

一人扶持金十兩二人 御貸付方請拂役七人
二人扶持金二十兩五人 唐人屋敷差配役四人

一手當金五十兩

元唐人屋
敷組頭

一手當金四十兩 新地差配人三人

元新地
頭人

一高三十俵二人扶持 教授所教授役一人
手當金三十五兩

一 五人扶持銀二十枚
七人扶持銀二十五枚

同助役二人

一 三人扶持

濟美館教授方助三人

一 二人扶持

同句讀七人

一 十五人扶持

遊擊隊出役取締頭取一人

一 十人扶持

同取締十五人

一 七人扶持

同助二十六人

一 七人扶持 百十六人
五人扶持 二百四十六人

同出役三百六十二人

一米百俵金二百兩

諏方社神主以下

一米五十俵

安禪寺寄付

一米十俵金十三兩

安禪寺塔頭多聞院

一米二俵

伊勢宮御供米

一米三俵

神宮寺御供米

一米二俵

時鐘撞二人助成米

未定 彌崎御藏預 同御藏番 同升取 同小使
半守 半番

計

米一萬三千百十石五斗一升

金六千四百二十三兩

銀四十五枚

長崎會所歲計

一長崎會所金穀ノ出納ハ唐蘭商法盛衰ノ狀況ヲ見ルニ至
要タリ其豫算定額商況ニ隨テ時々改正アリ今寛政以來
ノ豫算又ハ決算數表ヲ掲ケ其一班ヲ示ス

一收入金名稱區別

本途銀

唐蘭船本賣蘭船追買同協荷物會所請込用物殘同調進殘商賣荷物出銀
五ヶ所割符白糸生糸代銅價銀會所出銀糸口銀朱代鈺鈔代座渡明凡代

諸役人調物代町年寄献上端物代對州平戸除物
代地役人拜借米及市中拂下米代地方租稅等

三分掛リ銀

唐蘭荷物ヲ商人落札シタル代金
ノ外百分ノ三ヲ上納セシムル者

荷物三分掛入銀

唐船藥種荒物每百斤三斤ヲ加ヘシメ商人へハ現
量ヲ以テ代金ヲ納メシム其差量ノ代金ヲ云フ

諸返納取立銀

俵物諸色代口銀

二七銀ト唱ヘ會所直仕入ノ外ハ諸色代銀百目ニ銀二匁七分及刻茯苓ハ五匁並蘭船買歸リ銅針金錢等ノ出目直違等ノ分

新地藏修復用意銀

唐船宿町日雇賃ノ内每船銀二百目及藏敷料ヨリ出サシム

關所並召上物銀

御米方出入仲使賃銀

會所買入米市中拂下米等肥前肥後米ハ一石銀四分豐後米ハ四分五厘ヲ收入ス

人參代金

一天保七年ノ調査ニ依レハ唐蘭船ニ賣ルノ銅百斤元價ハ

銀百七十目而シテ唐船ハ百十五匁蘭船ハ六十目二分五

厘ノ定價ヲ以テ之ヲ與ヘ其欠損ハ會所利益ヲ以テ之ヲ

補フノ方法タリ

寛政六年歳計豫算表

歳入

一銀一萬四千八百八十一貫三百目

内

七千九百二十三貫二百二十目

唐商法元代並利益利益十七割

三千六百九十二貫目

蘭商法元代並利益利益四十五割

千五百貫目

米代

百八十貫五百三十目

地方租稅

五百二十三貫六百十匁

本途銀ニ屬スル雜入

三百七十八貫目

三分掛リ銀

百五十六貫目 荷物三分掛入銀
 三百九十三貫二百五十目 諸返納取立銀
 九貫百四十目 倭物諸色代口銀
 四貫目 新地藏修復用意銀
 百十貫目 關所並召上物銀
 七貫三百目 御米方出入仲使賃銀
 五貫二百五十目 人參代銀

歲出

一銀一萬六千五百四貫九百六十一匁

內

九百貫目 上納金一萬五千兩分
 四十四貫五百目 町年寄並宿老幕府へ獻品
 代隔年ニ付平均一ケ年分
 三千三百七十二貫六百二十目 唐蘭渡シ銅代及銅山手當
 銀及銅代延納年賦銀等
 四千三十八貫四百三十八匁 唐船商賣代リ品代其他唐
 船唐館ニ係一切ノ諸費
 七百九十九貫二百八匁 蘭船代リ品代其他幕府
 參候路費出島家賃等
 二百四十五貫九百目 奉行御代官會所調役
 町年寄へ唐蘭八朔銀
 九貫目 長崎掛リ江戸諸役人調物代
 奉行家申受用
 五十二貫四百八十五匁
 二千九百九十五貫三百二十目 地役人受用銀扶持米給米代
 五十三貫四百目 加役料褒美銀等

五十八貫九百二十目	旅費
二百五貫百二十七匁	系代其他宿老給與
二十貫目	江戸人參坐手當
千五百貫目	諸役人拜借米代並 市中へ拂下米代
百八十貫五百三十目	地方租稅幕府へ上納
八百六十九貫五百十匁	市中へ配與箇所竈銀
二十五貫三百八十九匁	寺社給與
三十貫六百九十目	貧民救助米代
五百目	勾當上京助成銀
十七貫四百九十五匁	地役人長屋修繕料並宿料

四百五十貫五百二十目	唐船寺社へ寄進及諸方へ贈品代
三十四貫五百目	寺社地役人及神事町へ貸與金
百六十一貫五十五匁	諸役所修繕費
四百三十九貫八百五十四匁	諸役所及諸方雜費
差	
一銀千六百二十三貫六百六十一匁	支出超過

備考

當時吏員ノ上申ニヨレハ銅山ニ關スル負債銀五百四十貫目ノ年賦ハ殘年限僅ニ三年タリ又伊與銅ノ餘裕ヲ以テ上納金ニ充テ其他利益アル外國品ヲ購入シ以

テ之ヲ支持スルノ豫算ナリ

○

文化十年歳計豫算表

近年葡船來ラヌ故
ニ收支皆之ヲ除ク

歳入

一銀一萬四千二十九貫六百十五匁

内

六千八百五十二貫目

唐船十艘本賣元代利益利益十六割

二千九十六貫目

同増賣ノ分利益十七割五分

六百貫目

朱持渡雜費賣乘員別段賣ノ分
利益二十割

六百七十五貫目

同別段賣ノ分利益五割

千二百二十九貫八百五十目

別船一艘分 本賣利益十六割
別段賣利益八割四分

千二百五十四貫四百目

唐金銀量目二百四十
一貫八百二十五匁代

五百九十四貫三百六十五匁

荷物三分掛ケ入銀並三分掛銀

七百六十八貫目

諸收人

歳出

一銀一萬四千六百二十四貫五百八十六匁

内

千三百二十貫目

上納金二萬二千兩分 定式一萬五千兩
別船分七千兩

二千八百七十三貫八百目

銅山手當銅代等

三千貫目

倭物諸式代

千五百七十九貫九百三十目

唐船唐館ニ係ル諸費

百十三貫二百四十九匁

御用和縮緬代長崎掛リ江戸諸
役人受用銀江戶人參坐手當等

三百三十五貫八百四匁

奉行御勘定御普請
役奉行家中受用銀

七十八貫百十匁

奉行御代官會所調役町年寄ニ唐船八朔
銀並寺社ニ寄付醫師謝禮宿町小拂等

四百二十三貫五百三十目

唐船寄進音物料宿町附町雜費等

二十一貫八百目

安禪寺大音寺踏臺寺御
經料等並聖堂釋祭料

九百五貫十匁

箇所竈銀並貧民救助米代

三千百四十四貫九百二十五匁

地役人受用銀助成銀加役料並系
割符方給料被下銀及諸役宿料等

三百五十貫百十四匁

町年寄宿老献品代旅費大
版銅座費上納金雜費等

二十貫四百八十七匁

御用物ニ係ル諸費

四十貫二百三十五匁

取締ニ屬スル諸費

六十七貫九百六十目

諸役所修繕費

二百十九貫五十一匁

諸役所雜費

四十四貫七百八十一匁

天草並大里出張所諸費

七十四貫八百目

貸與並操替費

十一貫目

圍米買入代

差

一銀五百九十四貫九百七十一匁

支出超過

外銀二千百十四貫七百四十五匁 此年ヨリ節減ノ分

備考

當時吏員ノ上申ニ依レハ蘭船へ渡スヘキ銅餘裕アル
 ナ以テ年々二十四萬斤ヲ賣レハ六百貫目ヲ得ヘク且
 利益平均十六割ト豫算スルモ今後十八割以上ニ出ル
 ノ見込ナルヲ以テ却テ百五十六貫目ノ殘餘ヲ生スヘ
 キノ割合ナリト

○
 文久三年改定歲出豫算表

一銀二萬五千五百六十五貫八百七十七匁

内

千二百貫目	上納金二萬兩分
二百十二貫九百三十三匁	地方租稅
三千六百九十二貫百十一匁	銅山手當銅代等
四千四十六貫八十六匁	俵物代
二百七十八貫八百三十目	樟腦代
八十八貫二百目	御種人參代江戸人參座手當等
九百十五貫七百八十四匁	琉球產物代
十七貫二百三十二匁	平戸水銀代
四千五百二十九貫三百七十目	唐船唐館ニ係ル諸費

千十二貫百七匁

蘭船出島ニ係ル諸費

四十貫四百三十六匁

江戸諸役人受用銀並誂物代

四百六十四貫目

奉行役金

三百五十三貫九百七十七匁

在勤諸役手當金並着撥
諸費臨時出張官賄費等

三千五百三十一貫八百七十五匁

地役人役料手當褒美銀等

二百六十貫百二十七匁

宿老給料並糸代被下銀

八十四貫五百二十九匁

御救銀會所諸役給料雜費等

千四百四十二貫七百二十目

米代

四百七十五貫六百九十二匁

蘭人參府路費及獻品代等

八十貫六百目

町年寄宿老參府路費獻品代雜費

五十一貫八百九十六匁

旅費

百五十五貫八匁

諸役所及備品修繕費

四百六十二貫四百四十九匁

諸方雜費

六十五貫二百三十八匁

牢屋溜小屋諸費

三十一貫百七十四匁

大小砲弓術稽古ニ係ル諸費

九百三貫九百十四匁

箇所靈銀救助銀等

二百九貫九百二匁

唐蘭船奉行其他へ八朔銀

二百八十六貫六百九十六匁

唐蘭船寄進音物送物代等

二十三貫六百六十目

寺社經料祭祀料等

二十四貫三百七十六匁

塵捨及港浚費等

三百六十五貫六百三十三匁

貸與操替費

二百五十九貫三百二十二匁

圍米買入元銀

○

安政六年歲入出決算表

一匁未満ハ切捨タル
ナリテ多少ノ差アリ

歲入

一銀七萬七千二百二十四貫九十目

内

七千二百二十七貫三百八十目

前年操越金

一萬二千二百四十二貫九百八十二匁 唐船荷物拂代

七千四百七十貫三百七十二匁

蘭船及外國船荷物拂代

千三百四十六貫百八十五匁

琉球產物拂代

三百十貫五百七十六匁

江戸金座買請錫代

二百二十一貫百五十四匁

江戸朱座買請朱代

二千三百十貫八百九十八匁

銅代

二千七百五十九貫三百十八匁

地方租稅並米代收入

二萬千三百二十貫四百五十六匁

唐金銀及銀錢代

百二十四貫八百八十一匁

鍍錢代

六百三十一貫二百六十九匁

會所請込品拂代

四十七貫七百七十六匁

三分掛入銀

四百三十貫百十六匁 三分掛銀
 四十五貫九百三十二匁 欠所召上物代
 千二百二十九貫二百九十二匁 貸付金年賦返納等
 千八百九十貫三百目 諸方注文品代返納
 八百五十六貫九百七十八匁 諸冥加銀手數料等
 二百十四貫二百目 雜入
 一萬六千百十三貫目 借入金
 千三百三十一貫二十五匁 置付用意銀其他ヨリ流用
 歲出
 一銀七萬二千三百四十貫九百九匁

内

七十四貫九百四十八匁 上納金
 二千四百八十六貫二百五十八匁 地方租稅並買請米代上納
 三千三百五十貫六百四十一匁 銅代
 六千八百一貫七百十二匁 倭物並諸色代
 百七十四貫目 御種人參代
 千百十貫四百四十八匁 琉球產物代
 一萬六百四十三貫五百三十二匁 外國船渡シ白蠟百炭樟腦麥白糸生糸代等
 六千七百八十四貫三百九十四匁 銀錢引替元金
 一萬九千二百五十一貫四百廿七匁 金銀札引替元金

三千九百十九貫八百三十六匁

唐館唐船ニ係ル諸費

四十八貫二百七十九匁

外國人居留場並止宿所ニ係ル諸費

三百六十八貫百四十七匁

外國人居留場買揚地代並住民引移料海面埋築費等

七十六貫二百六十五匁

御用物代

二十一貫八百目

寺社經料祭祀料等

四百三貫目

奉行役金

十二貫二百九十目

江戸諸役人役金

百七十三貫九匁

在勤諸役人役金手當金旅費等

二百八十三貫百三十三匁

系割符宿老給料諸費並系代等

三千二百三十八貫六十五匁

地役人給料手當銀等

十一貫七百目

江戸用達給料

九十一貫五百二十八匁

奉行以下八朔銀

二百三十三貫六百四十七匁

唐船寄進禮物等寺社其他渡シ

三十貫六百目

宿老江戸拜賀諸費

九十八貫六百四十二匁

唐船宿町付町諸費

九百二貫二百二十二匁

箇所竈割銀及救助費

三百四十九貫五十四匁

諸役場營繕費

三十四貫五百目

俵物役所買上費

九百十四貫五百九十四匁

諸役所雜費

百七貫三百四十目

大坂銅座諸費

十八貫六百五十七匁	江戸人參座ニ係ル諸費
十七貫七百八匁	浦賀詰蘭通詞諸費
二十貫九百二十三匁	外國人接待費
百五十四貫六百七十九匁	湊會所諸費
二十八貫三百八十八匁	牛深番所諸費
十四貫七百十四匁	大里出張所諸費
三百十四貫二百十三匁	傳習方諸費
百八十四貫九十九匁	觀光丸其他船々諸費
七百五貫五百五十二匁	製鉄所傳習諸費
四十三貫九百八十六匁	製茶所諸費

十貫四匁	活字版摺立諸費
七十八貫八匁	囚獄諸費
七十四貫七百五十七匁	人足寄場諸費
三十貫五百八匁	朝鮮人漂流ニ係ル諸費
十三貫七百七十八匁	漂流人ニ係ル諸費
四十七貫二百十一匁	圓叔方商法利益暨 付用意銀ニ編入
百八十三貫二百八十三匁	貸與并一時操替金
七千二百六十二貫百七十四匁	借入金元利償還
千百四十三貫三百五十六匁	一時流用ノ分返入

差

一銀四千七百八十三貫百八十一匁 殘金

唐蘭船商法沿革

付外交 外國渡航 外國船來港

元龜元年南蠻船始テ來ル

元龜二年南蠻船ニ交易ヲ許シ市街ヲ設ク

文祿三年本港商人白山嘉右衛門薩州ヨリ交址ニ航ス之ヲ

九州外航ノ始トス

文祿四年交址船始テ來ル

慶長五年秋唐商船始テ來ル

慶長九年系割符商法ヲ興ス

慶長十四年七月蘭人英人ニ通商許可ノ印章ヲ賜フ○十一月有馬修理大夫南蠻船ヲ燒ク

慶長十六年又南蠻船ヲ港外神崎海上ニ燒ク

寛永五年三月濱田彌兵衛臺灣ニ入ル

寛永十二年唐船貿易ヲ長崎一港トス

寛永十三年外國渡航ヲ禁ス○唐船荷役ニ檢使ヲ出ス○出

島成ル南蠻人ノ市街散宿ヲ禁ス

寛永十五年南蠻人ノ渡來ヲ禁シ在住者日ヲ期シテ歸國セ

シム

寛永十六年南蠻船三艘來リ通商ヲ乞フ

寛永十七年蘭船貿易場ヲ長崎一港トス○五月南蠻船來リ

通商ヲ乞フ之ヲ燒ク

寛永十八年蘭船來ル出島ヲ以テ居留所トス

寛永二十年蘭船南部ニ漂着ス○漂着蘭人待遇ノ法ヲ令セ

ラル

正保三年蘭船ニ銅ノ輸出ヲ許ス

正保四年哥阿國使船二艘來リ通商ヲ乞

慶安三年蘭國使節來リ江戸ニ候ス

明曆元年系割符法ヲ廢シ相對貿易トス

明曆二年暹羅使船來リ互ニ通航センコトヲ乞フ○麝香鼠ヲ

輸入ス

萬治元年明鄭成功使船來ル

寛文元年蘭船洋中ニ唐船ヲ掠ム命シテ之ヲ賠償セシム○
 蘭婦人臺灣ヨリ來ル○外國輸出錢ヲ伊勢町ニ鑄ル
 寛文二年出島ニ磁器舖ヲ設ク
 寛文四年初テ蘭人ニ金貨ノ輸出ヲ許ス
 寛文六年唐船差宿ヲ廢ス
 寛文七年武器ヲ朝鮮ニ私販スル江口伊右衛門等ヲ刑ス
 寛文八年蘭人ノ銀ヲ輸出スルヲ禁ス
 寛文十二年市法賣買ノ法ヲ定ム
 延寶元年英船來リ通商ヲ乞フ
 延寶二年蘭船初テ馬ヲ輸入ス

貞享二年六月南蠻船來リ漂流人ヲ送還ス○唐船荷物庫官
 封ノ法ヲ創ス○市法商賣ヲ廢シ復割符法トス○唐船商
 額ヲ銀八千貫目蘭船ハ金五萬兩トス
 元祿元年唐通事穎川三郎太等私販ス○唐商船定數ヲ七十
 艘トス
 元祿二年四月唐人屋敷成ル唐人ノ市街散宿ヲ禁ス
 元祿三年港番所ヲ四所ニ置ク
 元祿十一年唐船定限十艘ヲ増シ八十艘トシ商額ヲ銀八千
 貫目トス
 元祿十三年蘭船定數ヲ四五艘トス

元祿十四年蘭人大針口ヲ輸入ス○蘭婦人來ル

元祿十五年唐婦人來ル○新地荷庫成ル

寶永二年九月唐人屋敷大火

正徳四年唐船ノ定路ノ外ニ碇泊スルヲ禁ス

正徳五年新例ヲ布キ蘭船二艘金五萬兩銅百五十斤唐船三

十艘銀六千貫目銅三百萬斤ヲ定度トシ唐船ニ信牌ヲ與

フ

享保元年無信牌唐船十九艘貿易ヲ禁ス○木鉢郷ニ唐船見

送番所ヲ置

享保二年唐船定數十艘銀二千貫目ヲ増ス

享保三年渡邊外記命ヲ受ケ來リ筑前ニ唐船ヲ討

享保四年唐船定數ヲ三十艘トシ商額ヲ新銀四千貫目有餘

賣ヲ七百貫目トス

享保五年筑前海ニ唐船自燒ス○小倉ヨリ私販唐人三人ヲ

送ル○唐船初テ馬ヲ輸入ス○蘭船商額ヲ新金二萬五千

兩銅百萬斤トス

享保七年唐船ニ東京占城東埔寨ノ信牌ヲ與フ

享保八年蘭船ニ大馬輸入ヲ囑ス

享保九年唐人郭享統ニ一生間信牌ヲ與フ

享保十一年長門海ニ唐船自燒ス

享保十二年東埔寨國使臣來リ通商ヲ乞フ

享保十三年唐船象ヲ輸入ス

享保十四年唐船有餘賣ヲ廢シ雜物替商法ヲ開ク

享保十八年唐蘭商額ヲ減ス

享保十九年蘭船虎ヲ輸入ス

元文元年唐船定數ヲ二十五艘トス

元文三年蘭船ニ托シ奧港ノ物品ヲ輸入セシム○唐船定額

外每艘雜費賣三十六貫目ノ貿易ヲ許ス

元文五年六月東埔寨船生玳瑁ヲ輸入ス○唐船定數ヲ二十

艘ニ減ス

寛保二年東埔寨國ニ信牌一枚ヲ加付ス○唐蘭商額ヲ減ス

寛保三年蘭甲比丹參府每五年一度ニ改ム○唐船定額外銀

千貫目俵物貿易ヲ許ス

延享元年蘭船商額本年ニ限リ増額ス

延享二年蘭船商額本年モ亦増額ス

延享三年蘭船商額ヲ改ム

寛延二年唐船定數十五艘銀四千百十貫目銅十萬斤トス

寶曆七年廣東人參ノ輸入ヲ禁ス

寶曆十三年唐船初テ唐銀ヲ輸入ス○蘭人金千兩ヲ銅ニ換

へ輸出ス

明和元年唐蘭船商額ヲ改ム○蘭甲比丹參府ヲ隔年トス
明和二年唐船古金銀ヲ輸入ス○蘭船初テ金銀ヲ輸入ス○
蘭船金千兩ヲ錢ニ換ヘ輸出ス

明和三年唐館内及ヒ唐船通用銀券ヲ發ス

明和四年蘭船ニ二年間銅ヲ増ス

明和五年蘭船定數ヲ二艘銅九十萬斤トシ唐船ノ額外賣ヲ

止ム

安永四年蘭船全体ノミイラヲ輸入ス

天明四年唐船盈物代トシテ每艘砂糖七千五百斤ヲ出シ日

雇ニ與ヘシメ且日雇皆筒袖ヲ着セシム○七月唐館内悉

燒失ス

天明六年唐船主王履階ニ廿年間褒美賣ヲ許ス

寛政二年蘭船ヲ一艘銀七百貫目銅六十萬斤トシ甲比丹參

府五年一度トス

寛政三年唐船ヲ十艘銀二千七百四十貫目トス

寛政五年唐船定額ノ外番外船二艘ヲ増ス○蘭船ニ定額外

五年間餘荷物元代銀五十貫目銅七萬斤ヲ増ス

寛政七年再ヒ唐館内通用銀券ヲ發行ス

寛政十年蘭船定額ノ外五年間別段荷物代銀三百貫目及銅

ヲ増ス

寛政十一年唐船定數外番外船二艘ヲ増ス

寛政十二年蘭船ニ銀百貫目ヲ貸ス

享和元年唐船定額每艘銀三百七十貫目トス

享和二年蘭船定數隔年ニ二艘トス○唐船一艘ヲ増ス

享和三年米國船來リ通商ヲ乞フ○辨柄船亦來リ通商ヲ乞

フ○唐番外船二艘貿易ヲ許ス

文化元年魯國使節來ル○蘭船ニ定額外別段貿易ヲ許ス

文化三年蘭人ニ鉄錢ノ輸出ヲ許ス○唐船ニ元朝以前ノ書

籍輸入ヲ囑ス

文化四年米國船來ル○蘭人ニ銀六貫六百目ヲ貸與ス

文化五年蘭船ニ三年間銅ヲ増加ス○八月英國軍艦來リ蘭人ヲ拘ス

文化六年蘭船ニ銅ヲ増ス○唐船初テ書籍ヲ輸出ス

文化七年唐船ニ值銀二百六十貫目ノ物品ヲ貸與シ且番外

船二艘ノ貿易ヲ許ス

文化十年蘭船象ヲ輸入ス

文化十二年唐番外船ノ貿易ヲ止ム

文化十三年唐船商額每艘銀三百十貫目トス

文化十四年蘭船歐洲平定國王ノ交代ヲ告ク○蘭船ニ銅ヲ

増加ス

文政元年蘭船ニ十年間銅ヲ増加ス

文化二年蘭船ニ銅ノ増出ヲ許ス

文政三年唐館門前ニ大村勤番所ヲ置ク○唐船主ニ諭シ番

外船二艘ヲ出サシム○蘭船ニ三年間銅ヲ増加シ商額銀

千二百五十貫目トス

文政四年蘭船駱駝二頭ヲ輸入ス

文政五年蘭船ニ三年間銅ヲ増ス

文政七年英船薩州寶島へ來リ亂妨ス○蘭船ニ五年間銅ヲ

増ス

文政八年英船來ヲハ直ニ掃攘セシム○蘭船ニ通商旗ヲ掲

ケシム

文政十年唐人五人ヲ縛シ獄ニ下ス○蘭船荷物十年間價格

ヲ増ス

天保元年蘭船商額銀百貫目銅十萬斤ヲ増ス

天保五年蘭船潜水器ヲ輸入ス

天保六年唐人數十人ヲ大村ノ獄ニ拘ス

天保七年唐船商額一艘銀百貫目トス○圍穀資金ノ爲メ唐

船ニ別途物品ヲ輸入セシム○蘭船ニ尙五年間荷物ノ増

價ヲ許ス

天保八年唐船定額一艘銀五百貫目トス○唐船ノ番舟ヲ増

シ私販ヲ防ク

天保九年蘭船禁止ノ甘草ヲ輸入ス○蘭甲比丹某ノ再渡ヲ
禁ス

天保十年唐人在留二期ヲ超テ禁ス

天保十二年唐船主ニ值銀七百五十五貫目ノ俵物ヲ貸ス

天保十三年唐船主ニ值銀百五十貫目ノ俵物ヲ貸ス○蘭船
ニ尙五年間荷物増價ヲ許シ且銅ヲ増ス○蘭船ニ小銃ノ

輸入ヲ囑ス

天保十四年唐船主ニ銀三百廿五貫目ヲ貸ス

弘化元年七月蘭本國船來ル○唐船主ニ銀四百貫目ヲ貸ス

弘化二年唐船主ヘ銀七十貫目ヲ貸ス○七月英國測量船來

ル○蘭人外出ノ規則ヲ嚴ニス

弘化三年唐船主ニ銀二百貫目ヲ貸ス○唐人等遊女ニ龍眼

肉水砂糖ヲ贈ルヲ止ム○五月米人七人蝦夷ニ漂着ス○

六月佛國軍艦三艘來ル

弘化四年唐船定額ノ外過剩荷物外賣ヲ許ス○蘭船ニ尙五
年間荷物増價ヲ許ス

嘉永二年三月米國軍艦來ル○唐船主ニ銀五百貫目ヲ貸ス

○唐船主其他ヨリ遊女ヘ贈品ノ額ヲ定ム

嘉永三年唐船主ニ銀二百五十貫目ヲ貸ス

嘉永六年七月魯國軍艦四艘來ル

安政元年三月魯國軍艦三艘來ル○七月蘭國軍艦來ル○七月英國軍艦四艘來ル

安政二年三月英佛兩國軍艦陸續入港ス○六月蘭國軍艦來ル○蘭國蒸氣艦ヲ獻ス○蘭人ノ市街遊歩ヲ許ス○平戸小屋郷ニ外國人遊歩場ヲ設ク

安政三年二月外國船來ル○四月米國小舟來ル○八月英國軍艦來ル○英人ノ市街散步ヲ許ス
安政六年正月外國ト條約ヲ結ビ貿易ヲ開カル

異宗教處分

天正元年大村理專長崎ノ地ヲ切支丹寺ニ付ス

天正二年織田信長京都ニ南蠻寺ヲ建○切支丹宗徒浦上岩

屋山ヲ燒ク

天正九年切支丹宗徒神宮寺ヲ燒ク

天正十五年豐臣秀吉博多ニ在リ藤堂佐渡守ヲ遣リ切支丹

宗ヲ嚴禁シ廿日ヲ期シ伴天連ヲ逐フ

天正十六年切支丹宗徒ヲ南蠻ニ放ツ

天正十七年豐臣秀吉京都南蠻寺ヲ毀テ重テ切支丹宗ヲ禁

ス

文祿三年京都大坂ニ潜匿スル南蠻人六人切支丹宗徒廿餘人ヲ本港ニ送り之ヲ斬ル

慶長十六年重テ切支丹宗ヲ禁ス

慶長十九年幕府山口駿河守ヲ遣リ本港ノ切支丹寺ヲ破却

シ別ニ間官權左衛門ヲ遣リ切支丹宗徒百餘人ヲ西洋ニ放ツ

元和二年始テ宗門人別帳ヲ製ス

元和三年堺商人常陳等ヲ刑ス

寛永三年水野河内守奉行ニ任シ大ニ邪宗徒ヲ驅ル○切支

丹訴人賞金ヲ制札場ニ掲ク

寛永六年竹中采女正奉行ニ任シ又大ニ邪宗徒ヲ驅ル○初テ踏繪ノ法ヲ行フ

寛永七年切支丹宗ノ乞食七十人ヲ呂宋ニ放ツ

寛永十三年重テ切支丹宗ヲ嚴禁シ外國渡航ヲ禁ス○長崎

ニテ出生ノ南蠻人種ヲ阿媽港ニ放ツ

寛永十四年重テ切支丹宗ヲ禁ス○伴天連六人切支丹宗徒

三人琉球ニ漂着ス○天草島原ノ異宗徒等亂ヲ起シ島原

有馬ニ據ル

寛永十五年有馬落城ス○南蠻人ノ渡來ヲ禁ス

寛永十六年長崎居住ノ蘭人英人ヲ本國ニ送還ス

寛永十七年伴天連五人邪宗徒二人薩州甌島ニ漂着ス

寛永二十年南蠻人十人筑前ニ漂着ス

正保元年切支丹宗唐人七人ヲ斬ル○切支丹目付ヲ置キ唐

人ノ邪宗徒ヲ調査ス

明暦三年大村領内ノ邪宗徒ヲ刑ス

寶永五年伊太利人一人薩州ニ漂着ス

安政三年異宗徒ヲ獄ニ下ス

安政五年踏繪ノ法ヲ廢ス

慶應三年異宗徒ヲ獄ニ下ス

長崎年表附録終

明治二十年十月廿七日出版御届
明治二十一年八月二十五日印刷
明治二十一年九月六日出版

著述者

長崎縣平民

金井

俊行

長崎縣西彼杵郡上長崎村
千九百零九年

發行者

長崎縣士族

佐々

澄治

長崎縣西彼杵郡上長崎村
千八百七十七番戶

印刷者

長崎縣士族

七里

眞

長崎縣長崎區今籠町
十一番戶

發兌所

以文

會社

長崎縣長崎區本町多町
一番戶

15
58

Handwritten text in a grid or table format, possibly a calendar or ledger, with columns and rows of entries.



15

58

長崎年表附録

東 京 圖 書 館				
冊	号	架	函	類